

# 学報

No. 128

平成26年5月10日発行

# 上越教育大学

(掲載期間：平成26年3月1日～平成26年4月30日)

## 目次

◇平成25年度上越教育大学学位記授与式……………1	
■学長告辞	
◇平成25年度上越教育大学卒業証書・学位記授与式……………3	
■学長告辞	
◇平成26年度上越教育大学大学院入学式……………5	
■学長告辞	
◇平成26年度上越教育大学入学式……………7	
■学長告辞	
◇学事……………9	
■大学院入試(後期募集)	
■学部一般入試(後期日程)	
■教職大学院第2次学生募集	
■兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科の学位記授与式	
■兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科の入学式	
■学生表彰式	
■平成25年度課外活動団体リーダーズ・トレーニング研修	
■平成26年度新入生オリエンテーション	
■平成26年度新入生合宿研修	
■情報セキュリティ講演会	

■新入生ノートパソコン準備講習会	
◇人事……………13	
■役員等紹介	
■人事異動	
■学内委員会委員等	
◇一般通報事項……………50	
■役員会	
■経営協議会	
■教育研究評議会	
■教授会	
■ファカルティ・ディベロップメント研修会(講演会)	
■平成25年度上越教育大学国際交流のつどい	
■上越教育大学コア・サイエンス・ティーチャー認定証授与式	
■退職者永年勤続表彰状授与式	
■平成26年度新入生図書館利用ガイダンス	
■平成26年度文献の探し方ガイダンスほか	
■ベトナム・ハイフォン市訪問団来学	
■公開講座・免許法認定公開講座	
■海外渡航	
◇関係資料……………65	
◇主要日誌……………68	

# 平成 25 年度上越教育大学学位記授与式

平成 25 年度の学位記授与式が 3 月 19 日(水)午前 9 時 30 分から本学講堂で挙行された。式は、国歌演奏、学位記授与、学長告辞、修了生代表答辞、来賓紹介と進行し、記念演奏をもって閉会となった。

学長告辞は次のとおりである。

## 学 長 告 辞

学長 佐藤 芳 徳

長い冬の季節に耐え、キャンパス内の木々のつぼみが膨らんで参りました。本日、蛍雪の功なつて学位記を授与された 301 名の皆さん、誠におめでとうございませう。これまで支えてこられたご家族の皆様にお心よりお慶び申し上げます。また、ご多用のところ、学位記授与式にご臨席賜りましたご来賓の皆様にお、深く感謝申し上げます。

さて、本日、修了生の皆さんが学位を手にすることができたのは、皆さんのたゆまぬ努力に依ることは言を俟ちませうが、教員、職員、家族、上司、友人など多くの方々の支援の賜物でもあります。そのことは決して忘れないで下さい。

今日、学校教育現場では、社会のグローバル化、いじめ問題、インクルーシブ教育、ICTの活用など課題が山積しています。古くて新しい課題、新たに注目されてきた課題、これまで教育現場に存在しなかつた新しい課題など多種多様で、しかも相互に関連がある課題もあります。本学大学院において、勉学や研修を積まれた皆さんは、学問的知識、教育方法・生徒指導等の実践的指導力を身につけたことでしょうか。その能力は直ちに学校教育現場で役に立つものであり、それらの課題を解決する能力を培っていただけたものと思います。新たに教師となる人も現職の人も、どうか自信を持って教壇に立って下さい。目に見える形で獲得され自覚もされている能力、いわゆる顕在能力に加えて、潜在能力も十分に培われたものと確信しています。さらには、大学院における様々な研鑽や経験を通じて、人間的な成長も遂げられていると思います。

優れた教師としてあるためには、心、知、体の三つが必要です。心とは、人が人としてある意味、すなわち生きること、さらには考えることそのものです。それには生きる意欲が必要です。これは本来人間に備わっているものですが、ともすると減じたり失ったりします。意欲を維持増進するためには、新しいことへの好奇心が不可欠です。また、優れた教師は優れた人格そのものといえます。次に、知です。教師であるためには、知も不可欠です。知には単に知識だけでなく、経験や実践も含みます。知の積み重ねや経験を積むことが、人格形成にも直結します。最後に体ですが、これは肉体的、精神的な健康です。特に最近では、精神的な健康維持が重要です。時には休息も必要でしょう。上越では、豊かな食や自然、温泉なども楽しまれたでしょうか。上越教育大学で出会った友人、地元の人々とのふれあい、訪れた場所など、いつまでも大切にしていきたいと思ひます。これらの三つをバランス良く兼ね備えることが理想です。その理想像を目指してたゆまぬ努力を続けていただきたいと思ひます。

さて、綾部仁喜<sup>あやべじんき</sup>の句に、「どの子にも空ありて吹く石鹼玉」があります。子どもたちが空に向かって楽しそうにシャボン玉を飛ばしている情景が目に浮かんできます。それとともに、全ての子どもに幸多かれと願う作者の優しい気持ちが見事に表現されています。シンプルな句ですが、全ての子どもに対する愛情があふれています。教育の基礎にあるものは子どもへの愛情です。全ての子どもに輝かしい未来があります。子どもに対して、教え導くという気持ちも重要ですが、成長を支援するという気持ちの方がさらに重要です。子どももの学ぼうとする意欲を引き出し、それを伸ばす手助けをしてほしいと思ひます。

3年前、東日本は東北地方太平洋沖地震とそれに伴う津波で大きな被害を受けました。一日も早い復興を願うばかりですが、ある新聞のコラムに次のような話が載りました。地震のあった3月11日から間もない時期、ある外国人記者が取材で被災地に入りました。みんな厳しい寒さと飢えで震えていたときです。避難所で少年にインタビューしたとき、記者のポケットからバナナがこぼれ落ちたそうです。ほしいですかと聞くと少年が頷くので手渡したところ、少年はそのバナナを食べずに、共通の食料置き場に持って行ったというのです。少年のけなげで、自分だけでなくみんなの幸せを願う気持ちは貴重であり、私たちが受け継いでいかなければならないものです。将来、日本を支える子どもたちのなかに、このような少年は少なくないと思います。

結びとして、論語に「教えありて類<sup>るい</sup>なし。」という言葉があります。これは、人は教育による違いはあるが、生まれつきの類別はない。すなわち、人としての成長や完成度は教育によるものであるという意味です。教師として子どもと接するとき、ぜひ心に留めておいていただきたい言葉です。それとともに、自分自身を磨くための言葉ともして下さい。教師として学び続け、人間として成長し続けるためには謙虚な気持ちが不可欠です。健康に十分留意して、適宜休息も取り入れ、教師として人間としての理想像を目指していただくことを心より祈念し、告辞と致します。



## 平成 25 年度上越教育大学卒業証書・学位記授与式

平成 25 年度の卒業証書・学位記授与式が 3 月 19 日(水)午前 11 時 30 分から本学講堂で  
挙行された。

式は、国歌演奏、卒業証書・学位記授与、学長告辞、卒業生代表答辞、来賓紹介、学生  
表彰と進行し、記念演奏をもって閉会となった。

学長告辞は次のとおりである。

### 学 長 告 辞

学長 佐藤 芳 徳

今年の冬は予想に反して、上越の地では比較的雪の少ない冬でしたが、キャンパス内の  
桜のつぼみがふくらみ、ほんのりと色が付く季節となりました。

本日、卒業証書を授与された 168 名の皆さん、誠におめでとうございます。また、保護  
者の皆様にご心よりお慶び申し上げます。ご多用のところ、ご臨席賜りましたご来賓の皆様  
にご心より感謝申し上げます。

さて、卒業生の皆さんが、大学生活をつつがなく送られ、本日卒業できるのは、皆さん  
の努力に加えて、多くの人たちの支援があったことを決して忘れないで下さい。私たちは  
一人で生きているわけではありません。多くの人たちと共同の社会生活を送っています。  
昨今、社会のグローバル化が指摘され、教育現場にもグローバル化への対応が求められて  
います。それは新たな課題ではなく、これまで日本の歴史の中で常に考えられてきたこと  
でした。その時々で、世界の中にある日本を見つめ、地域を、ひいては自分の置かれた立  
場を考えることは必須であります。特に、子どもと向き合う立場にある教師として、家族  
と、地域のひとと、全国のひとと、世界のひととともに暮らしていることを常に自覚する  
必要があります。

皆さんは、これまで 20 年以上学んできました。大学での 4 年間は優秀な教師になるため  
に、必死の努力を積み重ねてきたことと思います。大学の授業だけでなく、部活やボラン  
ティア、アルバイトなど様々な形で多くの人々と接し、その中から様々なことを学び、身  
につけてきたことでしょう。それは、皆さんが教壇に立ったとき全て役に立ちます。子ど  
もの頃から、何度も失敗して、失敗ばかりしていると考えている人もいるでしょう。その  
ような経験も教育においては全て役に立ちます。なぜ失敗したか失敗から学ぶことも重要  
です。失敗から立ち直った経験、落ち込んでいたときに友人から受けた支援、家族の励ま  
しなどとても思い出深くかつ貴重なものです。本年 2 月にロシアのソチで開催されたオリ  
ンピック冬季競技大会で輝かしい成績を収めた人の言葉で共通するのは、多くの失敗があ  
ってこそ、またくじけそうになったとき周りの家族や友人たちの支えがあったからこそ良  
い成績を残せたというものでした。

本学のカリキュラムは、教師になるために必要な能力をできるだけ多く身につけていた  
だくように構成されています。卒業に必要な単位を修得された皆さんは、自分では気がつ  
かなくても多くの能力を身につけています。どうぞ自信を持って教壇に立って下さい。ま  
た、教師以外の道でも、自信を持って前進してください。多くの人、いや全ての人はまだ  
自分は教師として大人としてやっていくだけの能力は十分身につけていないと感じてい  
るのではないのでしょうか。実は、そのことが最も大切なのです。自分が完成したと感じた  
とき、あるいはもう新しい力はつけなくても良いと考えたとき、それ以上の進歩はありませ  
ん。それ以上自分の能力を伸ばすことはできません。自分が未完成であることを自覚し、  
謙虚な気持ちで学び続ける姿勢が最も重要です。

一昨年の中教育審議会の答申で、教員は探求心を持ち学び続ける存在であることが不

可欠であるとの指摘がありました。学び続けるとは、謙虚に自分の力がどのくらいであるか自覚することから始まります。それを踏まえて、新しい能力や教育現場で必要とされている力を身につけて下さい。焦ることはありません。自分なりに努力を続ける姿勢こそが大切です。社会は急激に変わっています。教育現場もそれに伴って変化することが予想されます。情報機器や通信手段、生活様式などのほかに、人々の考え方にも変化があるかもしれません。教育現場の課題も増えるでしょう、しかし、それを恐れる必要はありません。常にそれらの変化についての情報を手に入れ、どう対応すれば良いか考える姿勢や気持ちさえ持っていれば必ずうまくいきます。

もしつらいことがあったときは、上教大で学んだことを思い出して下さい。本井英の句に「天井を見て卒業の歌うたふ」があります。皆さんは、様々なことを学んでいるはずで、そして何より、多くの教職員や家族、地域の人たちが皆さんを支えてくれました。多くの友だちもできたでしょう。決して一人ではないことを、卒業の歌を歌いながら思い出し、心の支えとして下さい。

結びに、論語に「性、相い近し。習えば相い遠し。」という言葉があります。人は、生まれたときは、似通っているが、習うこと学ぶことで違ってくる。と言う意味です。子どもたちの力は、生まれたときはそれほどの違いはありません。しかし、教育によって大きな違いができます。教師は子どもを愛し、子どもが自ら学び成長することを助けることが任務であることを常に心に留めておいて下さい。それとともに、自分自身を磨くための言葉として下さい。

健康に十分注意して、多くの子どもの慕われ、いつかは先生のようにになりたいと思われる教師となって下さい。その結果、皆さん自身の人生も充実したものになることを心より祈念し、告辞とします。



## 平成 26 年度上越教育大学大学院入学式

平成 26 年度の大学院の入学式が 4 月 7 日（月）午前 9 時 30 分から本学講堂で举行された。

式は、国歌演奏、学長告辞、入学生代表宣誓、来賓紹介、来賓祝辞、役職員紹介と進行し、記念演奏をもって閉会となった。

学長告辞は次のとおりである。

### 学 長 告 辞

学長 佐藤 芳 徳

長い冬が過ぎ、春の訪れを身近に感じる頃となりました。市内の高田公園の桜もまもなく満開となることでしょう。

本日、上越教育大学大学院に入学された 243 名の皆様、ご入学おめでとうございます。本学教職員一同、在校生一同を代表して心よりお祝い申し上げます。また、御多忙のところご臨席賜りましたご来賓の皆様に、深く感謝申し上げます。

さて、上越教育大学は、教員の資質能力の向上と初等教育教員養成という社会的要請に応えるために、昭和 53（1978）年 10 月に設立された新構想の大学です。また、平成 20 年からは、専門職学位課程いわゆる教職大学院を設置し、高度の専門的能力と優れた資質を有する教員の養成を目指しています。昨年 12 月に、文部科学省から提示された本学のミッションの再定義において、本学修士課程は、学校現場における実践的研究を重視し、教科及び教職に係る優れた実践的指導力を備えた、高度専門職業人としての教員を養成し、並びに社会人をはじめ多様な人材の教員養成も行うとされました。また、専門職学位課程では、学校での実習を基礎とする授業科目を充実させるなどして、実践的課題解決に密接に関連する教育体制により、高度専門職業人としての教員を養成するとされました。二つの課程ともに、高度専門職業人としての教員養成を謳っていますが、入学生の皆様には、高度専門職業人となるために、2 年あるいは 3 年の大学院生活の中で、何を身につけるべきか、何のために大学院に入学したのか、もう一度考えていただきたいと思います。

これから大学院で学ばれるにあたって、注意点を 3 つほど申し上げたいと思います。1 つは、まず目的意識を持っていただきたいということです。目的意識がないと、いくら本を読んでも事象などを見ても、そこから発せられている情報を感知することはできません。目的意識を持って事象を見る、あるいはデータを収集すると、データは加速度的に集積します。その分析の中で、自分に都合の良いデータを採用したくなる、またはそのデータのみを使ってみたくなる誘惑にかられます。そのことに歯止めをかけるのは、研究者倫理しかありません。あくまで客観的な視点からデータを分析する必要があります。2 つ目は、謙虚な気持ちを持つということです。謙虚な気持ちがないと、授業を聴き論文を読み、さらには経験を積んでも自分の身につきません。謙虚な気持ちで学んでこそ、その学修成果が身につき研究結果が自分のものとなります。大学院に入学し、自分が究めたいと考えている分野の膨大な先行研究を前にすれば、自ずと謙虚になります。その気持ちを忘れないで下さい。私も大学院に入学したとき、真理の大海を前にして茫然とたずんだことを昨日のここのように思い出します。倦まずたゆまず一步一步前進して下さい。3 つ目は、人と人とのつながりを大切にして下さい。東日本大震災後の復興において、絆という言葉がクローズアップされました。人と人とのつながりや協力して物事を行うことの重要性は、教育や研究にもそのまま当てはまります。本学大学院では、現職やこれから教師になろうとしている方など、年齢や経歴、出身地域において様々な人が学んでいます。お互いに切磋琢磨して学ぶことを通じて、本学で培った人間関係をぜひ大切に、大学院修了後もネットワーク等を構築していただきたいと思います。

ここ上越は、豊かな自然と風土、歴史や文化遺産に恵まれた地です。自然と向き合い地域の人々とふれあうための場所や施設が大変多く存在します。また、教育に対する深い理解と愛情を有する地でもあります。教員になるための教育を受け、あるいは教員として高度職業人としての資質能力を身につけるためには格好の地といえます。特に今年は、高田開府 400 年ということで多数のイベント等が計画されています。本学では、地域との連携を重視しています。地域連携事業やボランティア活動にも積極的に関わっていただくようお願いいたします。

孔子は論語の中で、「吾<sup>われ</sup>かつて終日食らわず、終夜<sup>い</sup>寝ねず、以て思う。益無し。学ぶにしかざるなり。」と述べています。あれこれ考えるより、まず学ぶことが重要である、ということです。実践重視とも取れるでしょう。実践的な研究や研修を通して、教養を深め、優れた教師として、優れた人間としての人格を磨いていただきたいと思います。充実した2年あるいは3年の大学院生活を送られ、全ての入学生が所期の目的を達成して修了されますことを心より祈念し、告辞といたします。



# 平成 26 年度上越教育大学入学式

平成 26 年度の学部の入学式が 4 月 7 日（月）午後 0 時 30 分から本学講堂で挙行された。式は、国歌演奏、学長告辞、入学生代表宣誓、来賓紹介、来賓祝辞、役職員紹介と進行し、記念演奏をもって閉会となった。  
学長告辞は次のとおりである。

## 学 長 告 辞

学長 佐藤 芳 徳

長い冬が過ぎ、春の息吹を感じるころとなりました。キャンパス内の桜も、まもなく満開となることでしょう。

本日、上越教育大学学校教育学部に入學された 168 名の皆様、保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。本学教職員一同、在校生一同を代表して心よりお祝い申し上げます。また、御多忙のところご臨席賜りましたご来賓の皆様に、深く感謝申し上げます。

さて、上越教育大学は、昭和 53（1978）年 10 月に設置された教員養成系の新構想大学です。創立以来、教員養成の広域拠点大学として着実な歩みを進めてきました。教師としての使命感、人間愛、創造力を育成し、教師として必要な知識や技術等を習得するためのカリキュラムを構築しています。また、新潟県教育委員会、上越市教育委員会等と連携、意見交換し、社会や教育現場のニーズに対応したカリキュラム改革を絶えず進めています。

本学では、開学以来、真の教育実践力を習得できるように、教育実習関連科目の充実に努めてきました。教育実習をカリキュラムの最重要科目として位置づけ、1 年次から 4 年次まで全ての学年に設置し、事前事後指導を綿密に行っています。また、教科指導力の向上や学級経営手法の習得、児童・生徒の様々な問題への対処等についてもカリキュラムに取り入れ、自信を持って教壇に立てるよう、確かな実践的指導力が身につくことを目指しています。さらに、現在、学校教育現場で大きな課題となっているインクルーシブ教育やボランティア科目についても卒業のための必修科目としているほか、いじめや体罰問題についても、その防止方法や対処について教員と学生がともに考え議論することにより、解決策について検討を進めております。

本学の特色の一つに、大学院において多数の現職教員が学んでいることがあげられます。すなわち、教職を志す学生と大学院に在籍する現職教員がともに学ぶことが出来る環境にあり、そのための授業科目も設置しています。学部学生の皆さんには、ぜひ現職の教師から教育現場の話や、教師としての心構え、身につけるべき教養等を聞いて、優れた教員になっていただきたいと思ひます。

ところで、皆さんはなぜ教師になろうと考えたのでしょうか。多くの人を持っている理由の一つとして、これまでの人生において、尊敬すべき教師や自分が目指したいと考える教師に出会ったことがあるのではないのでしょうか。そのような先生は、単に教育内容や教育技術が優れていただけでなく、一個の人間としても優れた方であったかと思ひます。教員として優れているということは、人間としても優れていることです。教師としての資質を磨き、教師としての能力を身につけることは人間として優れた人格形成を行うことと同じ意味です。理想の教師になるためには、自分に何が必要であり、何が不足しているのかをこの 4 年間でじっくり考えてほしいと思ひます。

教員として身につけるべきことからは、大学の正規授業にとどまりません。スポーツや文化に関する課外活動に積極的に参加して、友人作りやコミュニケーション力育成にも励んでいただきたいと思ひます。上越は自然が豊かで、文化や歴史に恵まれた地域です。また、教育に対する深い理解と愛情あふれる地域です。地域の人たちとの交流を通して広く



社会一般に目を向け、社会人としての素養も身につけて下さい。また、上越は四季の変化が明瞭で、自然とふれあうには絶好の地です。ぜひ自然とふれあい自然から学んでほしいと思います。自然は様々な情報を発信しています。しかし、その情報を感知する知識や経験がなければ自然からの情報を得ることができません。このことは、子どもと向き合うときにも同じことがいえます。子どもが発信する情報を受け取るための能力を身につけるにはどうすれば良いか、自ら考えることが大切です。

結びとして、これから4年間の学生生活を送られるにあたって3つのお願いをいたします。1つは、今持っている教師になりたいという気持ちを4年間持続して下さい。いろいろなできごとがあり、ともすれば教師をあきらめたいと思うときがあるかもしれませんが、決してあきらめないで下さい。2つ目は、教師として必要な知識や技能を習得することのほかに、人間としての教養を身につけて下さい。これは、立派な人でないと教師になれないと言っているではありません。優れた人格や教養を身につける自分なりの努力をしてほしいということです。3つ目は、友だちを大切にして下さい。大学で得た友人は一生の友人です。友だちとの絆を大切にしてほしいと思います。

論語のなかで、孔子は「憤<sup>ふん</sup>せずんば啓<sup>けい</sup>せず、悱<sup>ひ</sup>せずんば発<sup>はつ</sup>せず。」と述べています。学ぼうとする意欲がないものには教えようがない、自分から学ぼうとする意欲こそが重要だ、ということです。充実した4年間の大学生活を送り、4年後には全ての人が教師として羽ばたいていただくことを心より祈念し、告辞といたします。



# 学 事

## ○大学院入試（後期募集）

平成26年度大学院学校教育研究科入学試験（後期募集）を次のとおり実施した。

修士課程は、募集人員92人（学校教育専攻42人，教科・領域教育専攻50人）に対し，応募者56人，合格者37人であった。

専門職学位課程（教職大学院）は，募集人員26人（教育実践リーダーコース10人，学校運営リーダーコース16人）に対し，応募者11人，合格者11人であった。

出 願 期 間 平成26年1月30日（木）～2月18日（火）

試 験 日 平成26年3月4日（火）

合 格 発 表 平成26年3月18日（火）

## ○学部一般入試（後期日程）

平成26年度学校教育学部一般入試（後期日程）を次のとおり実施した。

募集人員33人に対し，応募者308人，合格者44人であった。

出 願 期 間 平成26年1月27日（月）～2月5日（水）

試 験 日 平成26年3月12日（水）

合 格 発 表 平成26年3月21日（金）

## ○教職大学院第2次学生募集

平成26年度大学院学校教育研究科専門職学位課程（教職大学院）の第2次学生募集を次のとおり実施した。

教育実践リーダーコース5人，学校運営リーダーコース5人の合計10人を募集したが，応募者はなかった。

出 願 期 間 平成26年3月7日（金）～3月12日（水）

## ○兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科の学位記授与式

兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科（博士課程）の平成25年度学位記授与式が平成26年3月27日（木）に兵庫教育大学において行われた。

なお，平成25年度修了者15人のうち，本学の配属学生は1人である。

## ○兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科の入学式

兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科（博士課程）の平成26年度入学式が平成26年4月11日（金）に兵庫教育大学において行われた。

なお，入学者28人のうち，本学の配属学生は2人である。

## ○学生表彰式

学業等が特に優秀な学生等を対象に、学生表彰式を実施し、表彰状を授与するとともに、記念品を贈呈した。

期 日 平成26年 3月19日（水）

場 所 講堂

被表彰者氏名	表 彰 事 由
被災地ボランティア団体A B J	一般財団法人 学生サポートセンター「学生ボランティア助成事業」に応募し、活動について高い評価を受け表彰された。
学校教育学部 教科・領域教育専修 言語系コース（国語）4年  すぎもと けい 杉本 圭	学業成績優秀者
学校教育学部 教科・領域教育専修 言語系コース（国語）4年  ふるかわ まき 古川 真紀	学業成績優秀者
学校教育学部 教科・領域教育専修 自然系コース（数学）4年  いとう 伊藤さやか	学業成績優秀者

## ○平成25年度課外活動団体リーダーズ・トレーニング研修

スキル・トレーニングや意見交換等の活動を通して、課外活動団体のリーダーとしての任務を深く認識させるとともにその資質の向上を図ること、及び課外活動団体相互の理解を深め、充実した課外活動の運営と発展に寄与するリーダーの育成を目指すことを目的として実施した。

期 日 平成26年 3月6日（木）・7日（金）（1泊2日）

場 所 国立妙高青少年自然の家

参加人員 学生 85人 団体 36  
教職員 9人



### ○平成26年度新入生オリエンテーション

新入生が、学生生活を送る上で知っておく必要がある教育課程，履修方法及び学生指導等に係る基本的知識を修得することを目的として実施した。

期 日 平成26年4月7日（月）・8日（火）

場 所 講堂，講義棟301教室ほか

内 容 <学部>

大学教育，教育課程と履修方法，クラス担当教員による指導ほか

<大学院>

大学院の教育・研究，教育課程と履修方法，個別指導，就職指導ほか

<全体>

海外教育（特別）（実践）研究及び海外派遣制度，学生指導，保健管理センターほか

### ○平成26年度新入生合宿研修

入学後間もない時期に集団活動（生活）を通じて，新入学生相互並びに教職員との親和を図り，お互いの理解を深め，その後の学業上・生活上の安定・充実を図ることを目的として実施した。

期 日

平成26年4月25日（金）・26日（土）

場 所

国立妙高青少年自然の家

参加人員

1年次学生 168人

教職員 24人



## ○情報セキュリティ講演会

新入生及び在學生と教職員を対象として、大学における教育・研究等の学生生活において、コンピュータのウイルス感染や不正侵入、個人情報流出などの対策等、安全にコンピュータを利用するために必要不可欠である、「情報セキュリティ対策」に関して以下のとおり講演会を実施した。

期 日 平成26年4月9日（水）  
場 所 講堂  
講 師 情報メディア教育支援センター 准教授 井上 久祥  
参加人員 学部新入生：167人／大学院新入生：68人



## ○新入生ノートパソコン準備講習会

新入生が各自の所有するノートパソコンを、学内において活用できるようサポートするため、次のとおり講習会を実施した。

期 日 平成26年4月9日（水）～25日（金）（水及び金曜日）  
場 所 教育情報訓練室2  
講習内容 (1) 学内ネットワーク接続の方法  
(2) ポータルサイト、Webメール、印刷ステーションの利用方法  
(3) アンチウイルスソフトの導入方法等  
参加人員 学部新入生：163人／大学院新入生：46人



# 人 事

## ○役員等紹介

役 職	氏 名	任 期	経 歴
理 事	おおた しげお 太 田 惠 雄	平成26年4月1日 ～ 平成28年3月31日	昭和54年 3月 東京大学事務局 昭和56年 5月 文部省学術国際局 昭和59年 8月 文部省初等中等教育局 平成 5年 9月 広島大学国際交流課長 平成 7年 7月 京都大学留学生課長 平成 9年 4月 文部省初等中等教育局中学校課課長補佐 平成12年 4月 文部省初等中等教育局教科書課課長補佐 平成16年 4月 国立大学法人東京学芸大学学務部長 平成20年 4月 国立大学法人富山大学学務部長 平成22年 8月 独立行政法人国立青少年教育振興機構国立岩手山青少年交流の家所長 平成26年 4月 国立大学法人上越教育大学理事兼事務局長
監 事 (非常勤)	もりべ ひでお 森 部 英 生	平成26年4月1日 ～ 平成28年3月31日	昭和51年 4月 東京大学教育学部助手 昭和53年 4月 群馬大学教育学部講師 昭和55年 3月 群馬大学教育学部助教授 平成 元年 3月 群馬大学教育学部教授 平成 3年 4月 群馬大学教育学部附属教育実践研究指導センター長(～平成5年3月) 平成 5年 4月 群馬大学学生部長(～平成9年12月) 平成13年 4月 群馬大学教育学部長(～平成16年9月) 平成19年 4月 東京福祉大学教育学部教授 平成19年 4月 東京福祉大学教育学部長(～平成21年3月) 平成19年 5月 群馬大学名誉教授 平成21年 4月 高崎健康福祉大学教授 平成24年 4月 高崎健康福祉大学人間発達学部長 平成24年 4月 国立大学法人上越教育大学監事
監 事 (非常勤)	もりやま あきひこ 森 山 昭 彦	平成26年4月1日 ～ 平成28年3月31日	昭和57年 9月 等松青木監査法人(現 監査法人トーマツ)東京事務所 昭和64年 1月 太田昭和監査法人(現 新日本有限責任監査法人)新潟事務所 平成 5年 4月 森山経理事務所 平成 5年 4月 公認会計士森山昭彦事務所開設 平成13年 5月 柏崎農業協同組合監事 平成18年1 1月 学校法人柏専学院監事 平成24年 4月 国立大学法人上越教育大学監事

○人事異動（役員及び常勤職員）

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
	<b>役 員</b>			
H26. 3. 31	退 職 任期満了	(文部科学省)	本 田 政 則	理事兼事務局長
	任期満了		森 部 英 生	監事
H26. 4. 1	任 命	理事	森 山 昭 彦	監事
	任 命	監事	太 田 惠 雄	国立岩手山青少年交流の家所長
	任 命	監事	森 部 英 生	高崎健康福祉大学人間発達学部長・教授
			森 山 昭 彦	森山経理事務所長
	<b>部局長等</b>			
H26. 3. 31	免	人文・社会教育学系長代理	小 埜 裕 二	教授（人文・社会教育学系）
H26. 4. 1	任 命	経営協議会委員	太 田 惠 雄	理事
	任 命	経営協議会委員	小 原 芳 明	学校法人玉川学園理事長・玉川大学学長・玉川学園学長
	任 命	経営協議会委員	加 藤 誠 雄	新潟県小学校長会会長・上越市立大手町小学校長
	任 命	経営協議会委員	栗 田 修 行	株式会社上越タイムス社代表取締役社長
	任 命	経営協議会委員	佐々木 正 峰	公益財団法人文化財建造物保存技術協会理事長
	任 命	経営協議会委員	田 中 弘 邦	上越商工会議所会頭
	任 命	経営協議会委員	村 山 秀 幸	上越市長
	任 命	経営協議会委員	渡 邊 隆	公立大学法人新潟県立看護大学理事長・新潟県立看護大学学長
	任 命	教育研究評議会評議員	太 田 惠 雄	理事
	任 命	教育研究評議会評議員	田 上 隆	総合企画部長
	兼 務	国際交流推進センター長	黎 子 椰	教授（自然・生活教育学系）
	<b>大学教員</b>			
H26. 3. 7	育児休業	(26. 3. 7～26. 3. 27)	東 原 貴 志	准教授（自然・生活教育学系）
H26. 3. 31	定年退職		小 林 恵	教授（学校教育学系）
	定年退職		鈴 木 情 一	教授（学校教育学系）
	定年退職		平 野 絹 枝	教授（人文・社会教育学系）
	定年退職		山 本 友 和	教授（人文・社会教育学系）
	定年退職		大 場 孝 信	教授（自然・生活教育学系）
	退 職	実践女子大学生活科学部教授	細 江 容 子	教授（自然・生活教育学系）
	退 職	金沢工業大学基礎教育部教授	白 木 みどり	准教授（学校教育学系）

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
H26. 4. 1	退 職	北海学園大学法学部准教授	五十嵐 素 子	准教授（学校教育学系）
	退 職	武庫川女子大学文学部准教授	佐 藤 淳 一	准教授（臨床・健康教育学系）
	退 職	北海道医療大学大学教育開発センター准教授	長谷川 敦 司	准教授（自然・生活教育学系）
	退 職	園田学園女子大学人間健康学部准教授	角 田 智恵美	講師（臨床・健康教育学系）
	任期満了		橋 本 定 男	特任教授（学校教育学系）
	任期満了	上越市立末広小学校校長	中 野 英 康	特任准教授（学校教育実践研究センター）
	任期満了	上越市立谷浜小学校校長	亀 山 浩	特任准教授（学校教育実践研究センター）
	任期満了	新潟市立笹山小学校校長	金 子 淳 嗣	特任准教授（学校教育実践研究センター）
	昇 任	教授（芸術・体育教育学系）	阿 部 亮太郎	准教授（芸術・体育教育学系）
	昇 任	教授（芸術・体育教育学系）	洞 谷 亜里佐	准教授（芸術・体育教育学系）
	昇 任	准教授（学校教育学系）	奥 村 太 一	講師（学校教育学系）
	採 用	准教授（学校教育学系）	高 橋 知 己	滝沢市立篠木小学校教諭
	採 用	准教授（人文・社会教育学系）	橋 本 暁 子	筑波大学生命環境系助教
	採 用	助教（臨床・健康教育学系）	池 田 吉 史	
	採 用	特任教授（人文・社会教育学系）	平 野 絹 枝	教授（人文・社会教育学系）
	採 用	特任准教授（学校教育実践研究センター）	菊 地 雅 樹	十日町市立貝野小学校教頭
	採 用	特任准教授（学校教育実践研究センター）	佐 藤 人 志	上越市立南本町小学校教頭
	採 用	特任准教授（学校教育実践研究センター）	長 沼 智 之	新潟市立巻南小学校教頭
	兼 務	教授「教科・領域教育専攻芸術系コース」	西 村 俊 夫	副学長
兼 務	教授「教科・領域教育専攻自然系コース」	天 野 和 孝	副学長	
兼 務	教授「学校教育専攻学校臨床研究コース」	林 泰 成	副学長	
H26. 3. 31	<b>附属教員</b>			
	退 職	上越市立大潟町小学校校長	長谷川 敬 子	附属幼稚園副園長
	退 職	上越市立直江津南小学校教諭	高 木 恵美子	附属幼稚園教諭
	退 職	上越市立大町小学校校長	神 村 大 輔	附属小学校副校長
	退 職	上越市立大手町小学校教諭	磯 野 正 人	附属小学校指導教諭
	退 職	上越市立柿崎小学校教諭	茂 木 淳 子	附属小学校教諭
	退 職	十日町市立十日町小学校教諭	長谷川 成 生	附属小学校教諭
	退 職	上越市立高志小学校教諭	滝 沢 真紀子	附属小学校教諭
	退 職	長岡市立脇野町小学校教諭	水 谷 徹 平	附属小学校教諭
	退 職	上越市立柿崎中学校校長	森 一 夫	附属中学校副校長
	退 職	佐渡市立羽茂小学校校長	熊 木 徹	附属中学校教頭
	退 職	柏崎市立第一中学校教諭	伊 藤 貴 史	附属中学校教諭



発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
H26. 4. 1	退 職	上越市立安塚中学校教諭	内 山 未央子	附属中学校教諭
	退 職	上越市立三和中学校養護教諭	高 瀬 育 子	附属中学校養護教諭
	採 用	附属幼稚園副園長	丸 山 睦 子	上越市教育委員会管理指導主事
	採 用	附属小学校副校長	中 島 秀 晴	新潟県教育庁義務教育課特別支援教育推進室長
	配 置 換	附属小学校指導教諭	高 橋 栄 介	附属小学校教諭
	採 用	附属小学校教諭	小 山 明希恵	上越市立吉川小学校教諭
	採 用	附属小学校教諭	石 口 昇	上越市立大手町小学校教諭
	採 用	附属小学校教諭	松 田 宣 広	上越市立東本町小学校教諭
	採 用	附属小学校教諭	木 村 貴 之	柏崎市立柏崎小学校教諭
	採 用	附属小学校教諭	寺 島 克 郎	上越市立春日小学校教諭
	採 用	附属中学校副校長	長谷川 泰 山	長岡市立才津小学校校長
	採 用	附属中学校教頭	大 塚 啓	糸魚川市立青海中学校教頭
	配 置 換	附属中学校指導教諭	中 野 博 史	附属中学校教諭
	配 置 換	附属中学校教諭	小 池 克 行	附属中学校指導教諭
	採 用	附属中学校教諭	田 口 秀 行	上越市立城北中学校教諭
	採 用	附属中学校教諭	岩 澤 正 顕	長岡市立三島中学校教諭
採 用	附属中学校教諭	青 柳 潤	長岡市立宮内中学校教諭	
採 用	附属中学校養護教諭	山 賀 真 美	上越市立清里中学校養護教諭	
H26. 3. 31	<b>事務系職員</b>			
	定年退職		霜 越 隆 晴	総合企画部長
	定年退職		後 藤 公 夫	総務課長
H26. 4. 1	定年退職		瀧 澤 政 之	財務課財務チーム主査（主に出納担当）
	任期満了		松 尾 瞳	教育支援課学校連携チーム臨時職員
	任期満了		丸 山 恵	学術情報課学術情報チーム臨時職員
	研修出向	文部科学省行政実務研修生（総務課人事・労務チーム）	秋 山 裕 輝	財務課経理・契約チーム
	在籍出向	大学評価・学位授与機構評価事業部評価支援課支援第2係	毛 見 悠 人	企画・広報課企画・評価チーム
	在籍出向	国立妙高青少年自然の家総務係	山 田 佳 寛	学生支援課学生支援チーム
	兼 務	事務局長	太 田 恵 雄	理事
	採 用	総合企画部長	田 上 隆	長野工業高等専門学校事務部長
	再 雇 用	参事役	霜 越 隆 晴	
	配 置 換	監査室長	平 野 秀 秋	就職支援室長
配 置 換	総務課長	東 條 俊 明	入試課長	
配 置 換	企画・広報課長	加 藤 善 一	財務課長	

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
	配 置 換	財務課長	高 島 純 一	学生支援課長
	昇 任	就職支援室長	佐 藤 誠 一	総務課副課長（総務担当）
	昇 任	入試課長	岡 崎 明 弘	財務課副課長
	配 置 換	総務課副課長（総務担当）	瀧 本 一 幸	研究連携室副室長
	昇 任	総務課総務チーム主任	藤 田 健 仁	総務課総務チーム
	配 置 換	総務課人事・労務チーム主任	高 波 聡 美	教育支援課教務支援チーム主任
	採 用	総務課人事・労務チーム臨時職員（看護師）	井 上 由 子	
	担 当 命	企画・広報課副課長（企画担当）	水 野 栄 二	企画・広報課副課長
	配 置 換	企画・広報課企画チーム主査（主に改革担当）	藍 木 順 二	企画・広報課企画・評価チーム主査（主に企画調整担当）
	昇 任	企画・広報課企画チーム主査（主に経営担当）	高 橋 信 寿	財務課財務チーム主任
	配 置 換	企画・広報課企画チーム主査（主に評価担当）	山 口 信 幸	企画・広報課企画・評価チーム主査（主に評価担当）
	復 帰	企画・広報課企画チーム	齊 藤 正 信	大学評価・学位授与機構評価事業部評価支援課支援第4係
	配 置 換	企画・広報課企画チーム	市 村 涉	総務課人事・労務チーム
	採 用	企画・広報課企画チーム	村 山 直 也	
	昇 任	企画・広報課副課長（広報担当）	桐 山 敦 史	入試課入試チーム主査（主に企画・調査担当）
	昇 任	企画・広報課広報チーム主査（主に広報企画担当）	木 浦 正 志	企画・広報課企画・評価チーム主任
	昇 任	企画・広報課広報チーム主査（主に広報推進担当）	志 賀 和 孝	企画・広報課広報・情報チーム主任
	採 用	企画・広報課広報チーム	西 山 芽久美	
	昇 任	財務課副課長	池 田 謙 哉	財務課財務チーム主査（主に財務・監査担当）
	担 当 命 免	財務課財務チーム主査（主に財務監査担当）	星 野 太 一	財務課財務チーム主査（主に予算担当）
	昇 任	財務課財務チーム主査（主に予算管理担当）	木 村 康 司	学生支援課学生支援チーム主任
	担 当 命 免	財務課財務チーム主査（主に決算分析担当）	池 田 彰	財務課財務チーム主査（主に決算担当）
	配 置 換	財務課財務チーム主査（主に収入管理担当）	松 崎 良 一	就職支援室就職支援チーム主査（主に就職情報担当）
	昇 任	財務課財務チーム主査（主に支出管理担当）	畔 上 雅 子	財務課財務チーム主任
	再 雇 用	財務課経理・契約チーム	瀧 澤 政 之	
	採 用	施設マネジメント課副課長	杉 田 徹	富山大学施設企画部施設企画グループ主幹
	採 用	教育支援課教務支援チーム	松 尾 瞳	
	採 用	教育支援課教務支援チーム	上 野 貴 之	
	昇 任	研究連携室副室長	秋 山 由美子	就職支援室就職支援チーム主査（主に就職支援担当）
	復 帰	研究連携室研究連携チーム主査（主に地域連携担当）	島 田 一 馬	国立妙高青少年自然の家総務係長
	昇 任	研究連携室研究連携チーム主任	竹 内 若 奈	研究連携室研究連携チーム
	配 置 換	研究連携室研究連携チーム	小 林 大 亮	教育支援課教務支援チーム
	命	学生支援課課長代理	恩 田 義 孝	学生支援課副課長
	兼務解除	学生支援課副課長	恩 田 義 孝	学生支援課副課長・学生支援課学生支援チーム主査（主に学生企画担当）
	担 当 命 免	学生支援課学生支援チーム主査（主に学生企画担当）	竹 内 真 一	学生支援課学生支援チーム主査（主に奨学支援担当）

発令年月日	発令事項等	異 動 事 項	氏 名	現 ・ 旧 職
	配 置 換 昇 任 採 用 採 用 配 置 換 再 雇 用 配 置 換 採 用 配 置 換	学生支援課学生支援チーム主査（主に奨学支援担当） 学生支援課学生支援チーム主任 学生支援課学生支援チーム 学生支援課学生支援チーム 就職支援室就職支援チーム主査（主に就職支援担当） 就職支援室就職支援チーム 学術情報課学術情報チーム主査（主に情報企画担当） 学術情報課学術情報チーム臨時職員 学術情報課学術情報チーム	田 上 弘 美 赤 井 一 繁 小宮山 翔 平 石 野 純 里 渡 邊 真 紀 子 後 藤 公 夫 岩 井 洋 丸 山 恵 滝 澤 義 明	企画・広報課広報・情報チーム主査（主に広報担当） 学生支援課学生支援チーム  研究連携室研究連携チーム主査（主に地域連携担当）  企画・広報課広報・情報チーム主査（主に情報企画担当）  企画・広報課広報・情報チーム

教育研究評議会に置かれる委員会

大学改革委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
立屋敷かおる	理事	---		委員長
太田 惠雄	理事	---		
西村 俊夫	副学長	---		
天野 和孝	副学長	---		
林 泰成	副学長	---		
松沢 要一	教授	---	25. 4. 1～27. 3. 31	
加藤 哲文	教授	---	25. 4. 1～27. 3. 31	
浅倉 有子	教授	---	25. 4. 1～27. 3. 31	
小林 辰至	教授	---	25. 4. 1～27. 3. 31	
平野 俊介	教授	---	25. 4. 1～27. 3. 31	
梅野 正信	教授	---	25. 4. 1～27. 3. 31	
後藤 丹	教授	---	25. 4. 1～27. 3. 31	
瀬戸 健	教授	---	25. 4. 1～27. 3. 31	
直原 幹	教授	---	25. 4. 1～27. 3. 31	
野村眞木夫	教授	---	25. 4. 1～27. 3. 31	
廣瀬 裕一	教授	---	25. 4. 1～27. 3. 31	
田上 隆	総合企画部長	---		

以上17名

教育研究評議会に置かれる委員会

大学教員人材評価委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
立屋敷かおる	理事	---		委員長
天野 和孝	副学長	---		
松沢 要一	学校教育学系長	---		
加藤 哲文	臨床・健康教育学系長	---		
浅倉 有子	人文・社会教育学系長	---		
小林 辰至	自然・生活教育学系長	---		
平野 俊介	芸術・体育教育学系長	---		
梅野 正信	学校教育専攻長	---		
後藤 丹	教科・領域教育専攻長	---		
瀬戸 健	教育実践高度化専攻長	---		
石野 正彦	学長指名	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	

以上11名

教育研究評議会に置かれる委員会

学術研究委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
天野 和孝	副学長	---		委員長
川崎 直哉	附属図書館長	---		
松田 慎也	学校教育実践研究センター長	---		
中山勘次郎	情報メディア教育支援センター長	---		
松沢 要一	学校教育学系長	---		
加藤 哲文	臨床・健康教育学系長	---		
浅倉 有子	人文・社会教育学系長	---		
小林 辰至	自然・生活教育学系長	---		
平野 俊介	芸術・体育教育学系長	---		
越 良子	学校臨床研究コース長	---		
加藤 哲文	臨床心理学コース長	---		
丸山 良平	幼児教育コース長	---		
大庭 重治	特別支援教育コース長	---		
加藤 雅啓	言語系コース長	---		
下里 俊行	社会系コース長	---		
伊達 文治	自然系コース長	---		
高石 次郎	芸術系コース長	---		
加藤 泰樹	生活・健康系コース長	---		
西川 純	教育実践リーダーコース長 学校運営リーダーコース長	---		
大前 敦巳	学長指名	教授	25. 4. 1～27. 3. 31	
北條 礼子	学長指名	教授	25. 4. 1～27. 3. 31	

以上21名

教育研究評議会に置かれる委員会

カリキュラム企画運営会議

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
林 泰成	副学長	---		議長
石野 正彦	教務委員会委員	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
尾崎 祐司	教育実習委員会委員	講師	26. 4. 1～27. 3. 31	
稲田 結美	ファカルティ・ディベロップメント委員会委員	講師	25. 4. 1～27. 3. 31	
加藤 善一	企画・広報課長	---		
亀井 宣幸	教育支援課長	---		
梅野 正信	学長指名	教授	25. 4. 1～27. 3. 31	
城間 祥子	学長指名	講師	26. 4. 16～28. 3. 31	
笠原 芳隆	学長指名	准教授	25. 4. 1～27. 3. 31	
野村 眞木夫	学長指名	教授	25. 4. 1～27. 3. 31	
斎藤 敏夫	学長指名	准教授	26. 4. 16～28. 3. 31	
山縣 耕太郎	学長指名	教授	25. 4. 1～27. 3. 31	
土田 了輔	学長指名	教授	25. 4. 1～27. 3. 31	
光永 伸一郎	学長指名	教授	25. 4. 1～27. 3. 31	
東原 貴志	学長指名	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
廣瀬 裕一	学長指名	教授	25. 4. 1～27. 3. 31	
松沢 要一	学長指名	教授	25. 4. 1～27. 3. 31	
中山 勘次郎	学長指名	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	

以上18名

法人に置かれる委員会

セクシュアル・ハラスメント等人権侵害対策委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
立屋敷かおる	理事	---		委員長
松沢 要一	学校教育学系長	---		
加藤 哲文	臨床・健康教育学系長	---		
浅倉 有子	人文・社会教育学系長	---		
小林 辰至	自然・生活教育学系長	---		
平野 俊介	芸術・体育教育学系長	---		
上野 光博	保健管理センター所長	---		
直原 幹	附属中学校長	---	25. 4. 1～27. 3. 31	
太田 恵雄	事務局長	---		
松田 慎也	学長指名	教授	25. 4. 1～27. 3. 31	

以上10名



法人に置かれる委員会

大学評価委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
天野 和孝	副学長	---		委員長
松田 慎也	学校教育実践研究センター長	---		
川村 知行	学校教育学系	教授	26.4.1～28.3.31	
河合 康	臨床・健康教育学系	教授	26.4.1～28.3.31	
畔上 直樹	人文・社会教育学系	准教授	26.4.1～28.3.31	
川崎 直哉	自然・生活教育学系	教授	26.4.1～28.3.31	
阿部 靖子	芸術・体育教育学系	教授	26.4.1～28.3.31	
安藤 知子	学校教育専攻	准教授	26.4.1～28.3.31	
平野 俊介	教科・領域教育専攻	教授	26.4.1～28.3.31	
岩崎 浩	教育実践高度化専攻	教授	26.4.1～28.3.31	
北條 礼子	附属幼稚園長	---	25.4.1～27.3.31	
太田 恵雄	事務局長	---		
野村眞木夫	学長指名	教授	26.4.1～28.3.31	

以上13名

法人に置かれる委員会

情報・広報委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
天野 和孝	副学長	---		委員長
佐藤多佳子	学校教育学系	准教授	26.4.1～28.3.31	
井沢功一郎	臨床・健康教育学系	講師	26.4.1～28.3.31	
橋本 暁子	人文・社会教育学系	准教授	26.4.1～28.3.31	
黎 子椰	自然・生活教育学系	教授	26.4.1～28.3.31	
竹野 欽昭	芸術・体育教育学系	准教授	26.4.1～28.3.31	
渡辺 径子	学校教育実践研究センター	特任准教授	26.4.1～27.3.31	
高野 浩志	情報メディア教育支援センター	講師	26.4.1～28.3.31	
丸山 睦子	附属幼稚園副園長	---	26.4.1～27.3.31	
内藤 美加	学長指名	教授	26.4.1～28.3.31	
安部 泰	学長指名	准教授	26.4.1～28.3.31	

以上11名

法人に置かれる委員会

施設安全・環境委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
天野 和孝	副学長	---		委員長
布川 和彦	学校教育学系	教授	26.4.1～28.3.31	
高橋 知己	学校教育学系	准教授	26.4.1～28.3.31	
増井 晃	臨床・健康教育学系	教授	26.4.1～28.3.31	
池田 吉史	臨床・健康教育学系	助教	26.4.1～28.3.31	
石濱 博之	人文・社会教育学系	准教授	26.4.1～28.3.31	
橋本 暁子	人文・社会教育学系	准教授	26.4.1～28.3.31	
稲田 結美	自然・生活教育学系	講師	26.4.1～28.3.31	
大森 康正	自然・生活教育学系	准教授	26.4.1～28.3.31	
五十嵐史帆	芸術・体育教育学系	准教授	26.4.1～28.3.31	
市川 真澄	芸術・体育教育学系	教授	26.4.1～28.3.31	
北條 礼子	附属幼稚園長	---	25.4.1～27.3.31	
村田 俊行	施設マネジメント課長	---		

以上13名

法人に置かれる委員会

男女共同参画推進委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
立屋敷かおる	理事	---		委員長
松沢 要一	学校教育学系長	---	25. 4. 1～27. 3. 31	
平野 俊介	芸術・体育教育学系長	---	25. 4. 1～27. 3. 31	
野地 美幸	准教授	---	26. 4. 1～28. 3. 31	
土田 了輔	教授	---	25. 4. 1～27. 3. 31	
丸山 睦子	附属幼稚園副園長	---	26. 4. 1～28. 3. 31	
長谷川泰山	附属中学校副校長	---	26. 4. 1～28. 3. 31	
池田 謙哉	事務系職員	---	26. 4. 1～28. 3. 31	
秋山由美子	事務系職員	---	26. 4. 1～28. 3. 31	
東條 俊明	総務課長	---		
吉澤 千夏	学長指名	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	

以上11名

法人に置かれる委員会

研究倫理審査委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
天野 和孝	副学長	---		委員長
梅野 正信	人文・社会科学分野	教授	26.4.1～28.3.31	
北條 礼子	人文・社会科学分野	教授	26.4.1～28.3.31	
光永伸一郎	自然科学分野	教授	26.4.1～28.3.31	
池川 茂樹	自然科学分野	講師	26.4.1～28.3.31	
上野 光博	保健管理センター	教授	26.4.1～28.3.31	
高橋 幸知	学外学識経験者	---	26.4.1～28.3.31	
増井 晃	学長指名	教授	26.4.1～28.3.31	
宮下 敏恵	学長指名	教授	26.4.1～28.3.31	

以上9名

教授会に置かれる委員会

配分予算検討委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
立屋敷かおる	副学長	---		委員長
松田 慎也	学校教育実践研究センター長	---		
越 良子	学校臨床研究コース長	---		
加藤 哲文	臨床心理学コース長	---		
丸山 良平	幼児教育コース長	---		
大庭 重治	特別支援教育コース長	---		
加藤 雅啓	言語系コース長	---		
下里 俊行	社会系コース長	---		
伊達 文治	自然系コース長	---		
高石 次郎	芸術系コース長	---		
加藤 泰樹	生活・健康系コース長	---		
西川 純	教育実践リーダーコース長 学校運営リーダーコース長	---		
梅野 正信	連合研究科副研究科長	---		
高島 純一	財務課長	---		
松本 健義	学長指名	教授	25.4.1~27.3.31	

以上15名

教授会に置かれる委員会

教務委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
林 泰成	副学長	- - -		委員長
内藤 美加	学校教育専攻 学校臨床研究コース	教授	26.4.1~28.3.31	
五百川 裕	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	25.4.1~27.3.31	
高橋 靖子	学校教育専攻 臨床心理学コース	准教授	25.4.1~27.3.31	
杉浦 英樹	学校教育専攻 幼児教育コース	准教授	26.4.1~27.3.31	
八島 猛	学校教育専攻 特別支援教育コース	講師	26.4.1~28.3.31	
加藤 雅啓	教科・領域教育専攻 言語系コース	教授	25.9.11~27.3.31	
高本 條治	教科・領域教育専攻 言語系コース	准教授	26.4.1~28.3.31	
茨木 智志	教科・領域教育専攻 社会系コース	教授	26.4.1~27.3.31	
高橋 等	教科・領域教育専攻 自然系コース	准教授	26.4.1~27.3.31	
濤崎 智佳	教科・領域教育専攻 自然系コース	准教授	26.4.1~28.3.31	
長谷川正規	教科・領域教育専攻 芸術系コース	講師	26.4.1~28.3.31	
洞谷亜里佐	教科・領域教育専攻 芸術系コース	教授	25.4.1~27.3.31	
佐藤 悦子	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	25.4.1~27.3.31	
増井 晃	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	25.4.1~27.3.31	
川崎 直哉	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	26.4.1~28.3.31	
松浦 亮太	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	26.4.1~28.3.31	
松井千鶴子	教育実践高度化専攻	准教授	26.4.1~28.3.31	
石野 正彦	学校教育実践研究センター	教授	26.4.1~28.3.31	
亀井 宣幸	教育支援課長	- - -		

以上20名

教授会に置かれる委員会

教育実習委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
高橋 知己	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
井沢功一朗	学校教育専攻 臨床心理学コース	講師	26. 4. 1～28. 3. 31	
丸山 良平	学校教育専攻 幼児教育コース	教授	25. 4. 1～27. 3. 31	
齋藤 一雄	学校教育専攻 特別支援教育コース	教授	25. 4. 1～27. 3. 31	
渡部洋一郎	教科・領域教育専攻 言語系コース	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
畔上 直樹	教科・領域教育専攻 社会系コース	准教授	25. 4. 1～27. 3. 31	
谷 友和	教科・領域教育専攻 自然系コース	講師	26. 4. 1～28. 3. 31	
尾崎 祐司	教科・領域教育専攻 芸術系コース	講師	25. 4. 1～27. 3. 31	
加藤 泰樹	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	25. 4. 1～27. 3. 31	
松沢 要一	教育実践高度化専攻	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
石野 正彦	学校教育実践研究センター	教授	25. 4. 1～27. 3. 31	委員長
佐藤 賢治	学校教育実践研究センター	特任教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
菊地 雅樹	学校教育実践研究センター	特任准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
倉澤 秀典	学校教育実践研究センター	特任准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
佐藤 人志	学校教育実践研究センター	特任准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
清水 雅之	学校教育実践研究センター	特任准教授	26. 4. 1～27. 3. 31	
中野 博幸	学校教育実践研究センター	特任准教授	26. 4. 1～27. 3. 31	
長沼 智之	学校教育実践研究センター	特任准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
渡辺 径子	学校教育実践研究センター	特任准教授	26. 4. 1～27. 3. 31	
丸山 睦子	附属幼稚園副園長	- - -		
中島 秀晴	附属小学校副校長	- - -		
長谷川泰山	附属中学校副校長	- - -		
亀井 宣幸	教育支援課長	- - -		
土田 了輔	学長指名	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
池田 吉史	学長指名	助教	26. 4. 16～28. 3. 31	

以上25名



教授会に置かれる委員会

学生委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
大前 敦巳	学校教育専攻 学校臨床研究コース	教授	25. 4. 1～27. 3. 31	
河野麻沙美	学校教育専攻 学校臨床研究コース	講師	26. 4. 1～28. 3. 31	
井沢功一朗	学校教育専攻 臨床心理学コース	講師	26. 4. 1～27. 3. 31	
杉浦 英樹	学校教育専攻 幼児教育コース	准教授	25. 4. 1～27. 3. 31	
我妻 敏博	学校教育専攻 特別支援教育コース	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
白岩 広行	教科・領域教育専攻 言語系コース	講師	26. 4. 1～28. 3. 31	
野地 美幸	教科・領域教育専攻 言語系コース	准教授	25. 4. 1～27. 3. 31	
志村 喬	教科・領域教育専攻 社会系コース	教授	25. 4. 1～27. 3. 31	
下村 博志	教科・領域教育専攻 自然系コース	講師	25. 4. 1～27. 3. 31	
中川 仁	教科・領域教育専攻 自然系コース	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
高石 次郎	教科・領域教育専攻 芸術系コース	教授	25. 4. 1～27. 3. 31	
時得 紀子	教科・領域教育専攻 芸術系コース	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
上野 光博	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	25. 4. 1～27. 3. 31	
大橋奈希左	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	25. 4. 1～27. 3. 31	
大森 康正	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
得丸 定子	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
木村 吉彦	教育実践高度化専攻	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	委員長
(上野 光博)	保健管理センター所長	- - -		
恩田 義孝	学生支援課課長代理	- - -		

以上18名

教授会に置かれる委員会

就職委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
西村 俊夫	副学長	---		委員長
稲垣 応顕	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	26.4.1～28.3.31	
石川 真	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	26.4.1～28.3.31	
山本隆一郎	学校教育専攻 臨床心理学コース	講師	25.4.1～27.3.31	
笠原 芳隆	学校教育専攻 特別支援教育コース	准教授	25.4.1～27.3.31	
前川 利広	教科・領域教育専攻 言語系コース	教授	26.4.1～27.3.31	
下西善三郎	教科・領域教育専攻 言語系コース	教授	26.4.1～28.3.31	
矢部 直人	教科・領域教育専攻 社会系コース	准教授	25.4.1～27.3.31	
稲田 結美	教科・領域教育専攻 自然系コース	講師	26.4.1～28.3.31	
斎藤 敏夫	教科・領域教育専攻 自然系コース	准教授	25.4.1～27.3.31	
後藤 丹	教科・領域教育専攻 芸術系コース	教授	26.4.1～28.3.31	
伊藤 将和	教科・領域教育専攻 芸術系コース	講師	26.4.1～28.3.31	
土田 了輔	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	25.4.1～27.3.31	
佐藤 悦子	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	25.4.1～27.3.31	
桐生 徹	教育実践高度化専攻	准教授	26.4.1～28.3.31	
佐藤 誠一	就職支援室長	---		

以上16名

教授会に置かれる委員会

入学試験委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
西村 俊夫	副学長	- - -		委員長
釜田 聡	学校教育専攻 学校臨床研究コース	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
辻村 貴洋	学校教育専攻 学校臨床研究コース	講師	26. 4. 1～28. 3. 31	
宮下 敏恵	学校教育専攻 臨床心理学コース	教授	25. 4. 1～27. 3. 31	
杉浦 英樹	学校教育専攻 幼児教育コース	准教授	25. 4. 1～27. 3. 31	
笠原 芳隆	学校教育専攻 特別支援教育コース	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
大場 浩正	教科・領域教育専攻 言語系コース	教授	25. 9. 11～27. 3. 31	
迎 勝彦	教科・領域教育専攻 言語系コース	准教授	25. 4. 1～27. 3. 31	
山縣耕太郎	教科・領域教育専攻 社会系コース	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
林田 秀一	教科・領域教育専攻 自然系コース	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
高津戸 秀	教科・領域教育専攻 自然系コース	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
阿部亮太郎	教科・領域教育専攻 芸術系コース	教授	25. 4. 1～27. 3. 31	
安部 泰	教科・領域教育専攻 芸術系コース	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
東原 貴志	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	26. 4. 1～27. 3. 31	
佐藤ゆかり	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
池川 茂樹	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	講師	25. 4. 1～27. 3. 31	
上野 光博	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	26. 4. 1～27. 3. 31	
早川 裕隆	教育実践高度化専攻	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
林 泰成	教務委員会委員長	- - -		
黎 子椰	国際交流推進センター長	- - -		
岡崎 明弘	入試課長	- - -		
中山勘次郎	学長指名	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	

以上21名

教授会に置かれる委員会

ファカルティ・ディベロップメント委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
林 泰成	副学長	- - -		委員長
生澤 繁樹	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	25.4.1～27.3.31	
井沢功一郎	学校教育専攻 臨床心理学コース	講師	26.4.1～28.3.31	
村中 智彦	学校教育専攻 特別支援教育コース	准教授	26.4.1～28.3.31	
白岩 広行	教科・領域教育専攻 言語系コース	講師	25.4.1～27.3.31	
橋本 暁子	教科・領域教育専攻 社会系コース	准教授	26.4.1～28.3.31	
稲田 結美	教科・領域教育専攻 自然系コース	講師	25.4.1～27.3.31	
尾崎 祐司	教科・領域教育専攻 芸術系コース	講師	26.4.1～28.3.31	
増井 晃	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	25.4.1～27.3.31	
加藤 哲則	教育実践高度化専攻 教育実践リーダーコース	准教授	26.4.1～28.3.31	
堀 健志	教育実践高度化専攻 学校運営リーダーコース	准教授	25.4.1～27.3.31	

以上11名

※ 学校教育専攻幼児教育コースから選出する委員について、同コースの構成員が少数のため委員選出が困難である旨の申し出があり、平成26年度は欠員とした。

大学に置かれる委員会

教員免許状更新講習実施委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
林 泰成	副学長	---		委員長
井上 久祥	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	26.4.1～28.3.31	
井本 佳宏	学校教育専攻 学校臨床研究コース	准教授	26.4.1～28.3.31	
井沢功一朗	学校教育専攻 臨床心理学コース	講師	26.4.1～28.3.31	
村中 智彦	学校教育専攻 特別支援教育コース	准教授	26.4.1～28.3.31	
小埜 裕二	教科・領域教育専攻 言語系コース	教授	26.4.1～28.3.31	
北條 礼子	教科・領域教育専攻 言語系コース	教授	26.4.1～28.3.31	
吉田 昌幸	教科・領域教育専攻 社会系コース	准教授	26.4.1～28.3.31	
宮川 健	教科・領域教育専攻 自然系コース	准教授	26.4.1～28.3.31	
定本 嘉郎	教科・領域教育専攻 自然系コース	准教授	26.4.1～28.3.31	
松尾 大介	教科・領域教育専攻 芸術系コース	准教授	26.4.1～28.3.31	
玉村 恭	教科・領域教育専攻 芸術系コース	講師	26.4.1～28.3.31	
黎 子椰	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	26.4.1～28.3.31	
榊原 潔	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	准教授	26.4.1～28.3.31	
光永伸一郎	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	26.4.1～28.3.31	
上野 光博	教科・領域教育専攻 生活・健康系コース	教授	26.4.1～28.3.31	
赤坂 真二	教育実践高度化専攻	准教授	26.4.1～28.3.31	
亀井 宣幸	教育支援課長	---		

以上18名

※ 学校教育専攻幼児教育コースから選出する委員について、同コースの構成員が少数のため委員選出が困難である旨の申し出があり、平成26年度は欠員とした。

大学に置かれる委員会

研究活動の不正行為対策委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
天野 和孝	副学長	---		委員長
(天野 和孝)	学術研究委員会委員長	---		
武嶋 俊行	学校教育学系	教授	26. 4. 1～27. 3. 31	
五十嵐透子	臨床・健康教育学系	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
野村眞木夫	人文・社会教育学系	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
小川 茂	自然・生活教育学系	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
平野 俊介	芸術・体育教育学系	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
高橋 幸知	学外有識者	---	26. 4. 1～28. 3. 31	

以上7名

大学に置かれる委員会

動物実験委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
天野 和孝	副学長	---	25.4.1～27.3.31	委員長
中村 雅彦	自然・生活教育学系	教授	25.4.1～27.3.31	
小川 茂	自然・生活教育学系	教授	25.4.1～27.3.31	
谷 友和	自然・生活教育学系	講師	25.4.1～27.3.31	
竹野 欽昭	芸術・体育教育学系	准教授	25.4.1～27.3.31	
上野 光博	保健管理センター	教授	25.4.1～27.3.31	
直原 幹	芸術・体育教育学系	教授	25.4.1～27.3.31	

以上7名

大学に置かれる委員会

C S T 養成事業実施委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
立屋敷かおる	理事	- - -		
林 泰成	副学長	- - -		委員長
石野 正彦	学校教育学系	教授	25. 4. 1～27. 3. 31	
五百川 裕	学校教育学系	准教授	25. 4. 1～27. 3. 31	
桐生 徹	学校教育学系	准教授	25. 4. 1～27. 3. 31	
小林 辰至	自然・生活教育学系	教授	25. 4. 1～27. 3. 31	
稲田 結美	自然・生活教育学系	講師	25. 4. 1～27. 3. 31	
谷 友和	自然・生活教育学系	講師	25. 4. 1～27. 3. 31	
渡辺 径子	学校教育実践研究センター	特任准教授	25. 4. 1～27. 3. 31	
中島 秀晴	附属小学校	副校長	26. 4. 1～27. 3. 31	
大塚 啓	附属中学校	教頭	26. 4. 1～27. 3. 31	
近藤 朗	新潟県教育委員会義務教育課長			
興治 文子	国立大学法人新潟大学教育学部准教授			
高居 和夫	新潟市教育委員会教職員課長			
田中 仁	長岡市教育委員会学校教育課長			
岡田 正栄	新発田市教育委員会学校教育課長			
吉田 光夫	上越市教育委員会学校教育課長			
戸田 正弘	妙高市教育委員会こども教育課長			
池田 修	糸魚川市教育委員会こども課長			
阿部 和雄	柏崎市教育委員会学校教育課長			
小野島恵次	新潟県立教育センター所長			
吉原 修英	新潟市立総合教育センター所長			
山田 修	長岡市教育センター所長（新潟県地区理科教育センター連絡協議会会長）			
伊野 亘	国立妙高青少年自然の家所長			
田村 晴久	フォッサマグナミュージアム館長			
白鳥 尚夫	上越清里星のふるさと館館長			

以上26名



附属施設等に置かれる委員会

附属図書館運営委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
川崎 直哉	附属図書館長	---		委員長
梅野 正信	学校教育専攻長	---		
後藤 丹	教科・領域教育専攻長	---		
瀬戸 健	教育実践高度化専攻長	---		
村田 輝	学術情報課長	---		
石野 正彦	学長指名	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	

以上6名

附属施設等に置かれる委員会

学校教育実践研究センター運営委員会

氏名	委員会組織における職名又は組織等	職名	任期	備考
松田 慎也	学校教育実践研究センター長	---		委員長
石野 正彦	学校教育実践研究センター	教授	25. 4. 1～27. 3. 31	
佐藤 賢治	学校教育実践研究センター	特任教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
倉澤 秀典	学校教育実践研究センター	特任准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
清水 雅之	学校教育実践研究センター	特任准教授	26. 4. 1～27. 3. 31	
中野 博幸	学校教育実践研究センター	特任准教授	26. 4. 1～27. 3. 31	
渡辺 径子	学校教育実践研究センター	特任准教授	26. 4. 1～27. 3. 31	
菊地 雅樹	学校教育実践研究センター	特任准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
佐藤 人志	学校教育実践研究センター	特任准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
長沼 智之	学校教育実践研究センター	特任准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
奥村 太一	学校教育学系	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
土谷 良巳	臨床・健康教育学系	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
矢部 直人	人文・社会教育学系	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
岩崎 浩	自然・生活教育学系	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
上野 正人	芸術・体育教育学系	准教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
長谷川泰山	附属中学校副校長	---	26. 4. 1～27. 3. 31	

以上16名

附属施設等に置かれる委員会

保健管理センター運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
上野 光博	保健管理センター所長	---		委員長
増井 晃	保健管理センター	教授		
木村 吉彦	学生委員会委員長	---		
角谷 詩織	学校教育専攻	准教授	25. 4. 1～27. 3. 31	
Brown, Ivan Bernard	教科・領域教育専攻	准教授	25. 4. 1～27. 3. 31	
(木村 吉彦)	教育実践高度化専攻	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	
五十嵐透子	学長指名	教授	25. 4. 1～27. 3. 31	

以上6名

附属施設等に置かれる委員会

情報メディア教育支援センター運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
中山勘次郎	情報メディア教育支援センター長	---		委員長
大森 康正	情報メディア教育支援センター	准教授		
井上 久祥	情報メディア教育支援センター	准教授		
石川 真	情報メディア教育支援センター	准教授		
高野 浩志	情報メディア教育支援センター	講師		
安藤 知子	学校教育学系	准教授	25. 4. 1～27. 3. 31	
加藤 哲則	臨床・健康教育学系	准教授	25. 4. 1～27. 3. 31	
吉田 昌幸	人文・社会教育学系	准教授	25. 4. 1～27. 3. 31	
山崎 貞登	自然・生活教育学系	教授	25. 4. 1～27. 3. 31	
竹野 欽昭	芸術・体育教育学系	准教授	25. 4. 1～27. 3. 31	

以上10名

附属施設等に置かれる委員会

心理教育相談室運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
加藤 哲文	心理教育相談室長	---		委員長
五十嵐透子	心理教育相談室相談員	教授		
宮下 敏恵	心理教育相談室相談員	教授		
高橋 靖子	心理教育相談室相談員	准教授		
山本隆一郎	心理教育相談室相談員	講師		
上野 光博	保健管理センター所長	---		
齋藤 一雄	特別支援教育実践研究センター	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	

以上7名

附属施設等に置かれる委員会

特別支援教育実践研究センター運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
齋藤 一雄	特別支援教育実践研究センター長	---		委員長
我妻 敏博	特別支援教育実践研究センター	教授		
大庭 重治	特別支援教育実践研究センター	教授		
土谷 良巳	特別支援教育実践研究センター	教授		
河合 康	特別支援教育実践研究センター	教授		
藤井 和子	特別支援教育実践研究センター	准教授		
笠原 芳隆	特別支援教育実践研究センター	准教授		
村中 智彦	特別支援教育実践研究センター	准教授		
八島 猛	特別支援教育実践研究センター	講師		
小林 優子	特別支援教育実践研究センター	講師		
池田 吉史	特別支援教育実践研究センター	助教		
加藤 哲文	心理教育相談室	教授	26. 4. 1～28. 3. 31	

以上12名

附属施設等に置かれる委員会

附属学校運営委員会

氏 名	委員会組織における職名又は組織等	職 名	任 期	備 考
林 泰成	副学長	---		委員長
梅野 正信	学校教育専攻長	---		
後藤 丹	教科・領域教育専攻長	---		
瀬戸 健	教育実践高度化専攻長	---		
北條 礼子	附属幼稚園長	---		
河合 康	附属小学校長	---		
直原 幹	附属中学校長	---		
丸山 睦子	附属幼稚園副園長	---		
中島 秀晴	附属小学校副校長	---		
長谷川泰山	附属中学校副校長	---		
太田 恵雄	事務局長	---		

以上11名

運営の基本組織として置かれる委員会

連合大学院委員会

氏名	委員会組織における職名又は所属等	職名	備考	氏名	委員会組織における職名又は所属等	職名	備考
佐藤 芳徳	学長	---	委員長	西川 純	先端課題実践開発連合講座	教授	
立屋敷かおる	副学長	---		早川 裕隆	先端課題実践開発連合講座	教授	
西村 俊夫	副学長	---		丸山 良平	先端課題実践開発連合講座	教授	
天野 和孝	副学長	---		水落 芳明	先端課題実践開発連合講座	教授	
林 泰成	副学長	---		有澤俊太郎	言語系教育連合講座	特任教授	
梅野 正信	学校教育方法連合講座	教授		平野 絹枝	言語系教育連合講座	特任教授	
大前 敦巳	学校教育方法連合講座	教授		大場 浩正	言語系教育連合講座	教授	
釜田 聡	学校教育方法連合講座	教授		押木 秀樹	言語系教育連合講座	教授	
越 良子	学校教育方法連合講座	教授		小埜 裕二	言語系教育連合講座	教授	
内藤 美加	学校教育方法連合講座	教授		加藤 雅啓	言語系教育連合講座	教授	
中山勘次郎	学校教育方法連合講座	教授		下西善三郎	言語系教育連合講座	教授	
安藤 知子	学校教育方法連合講座	准教授		野村眞木夫	言語系教育連合講座	教授	
井上 久祥	学校教育方法連合講座	准教授		北條 礼子	言語系教育連合講座	教授	
生澤 繁樹	学校教育方法連合講座	准教授		前川 利広	言語系教育連合講座	教授	
奥村 太一	学校教育方法連合講座	准教授		浅倉 有子	社会系教育連合講座	教授	
角谷 詩織	学校教育方法連合講座	准教授		茨木 智志	社会系教育連合講座	教授	
我妻 敏博	学校教育臨床連合講座	教授		志村 喬	社会系教育連合講座	教授	
五十嵐透子	学校教育臨床連合講座	教授		下里 俊行	社会系教育連合講座	教授	
大庭 重治	学校教育臨床連合講座	教授		山縣耕太郎	社会系教育連合講座	教授	
加藤 哲文	学校教育臨床連合講座	教授		畔上 直樹	社会系教育連合講座	准教授	
河合 康	学校教育臨床連合講座	教授		小林 辰至	自然系教育連合講座	教授	
齋藤 一雄	学校教育臨床連合講座	教授		高津戸 秀	自然系教育連合講座	教授	
宮下 敏恵	学校教育臨床連合講座	教授		中川 仁	自然系教育連合講座	教授	
村中 智彦	学校教育臨床連合講座	准教授		中村 雅彦	自然系教育連合講座	教授	
木村 吉彦	先端課題実践開発連合講座	教授		松本 健吾	自然系教育連合講座	教授	



氏 名	委員会組織における職	職 名	備 考
小川 茂	自然系教育連合講座	教授	
斎藤 敏夫	自然系教育連合講座	准教授	
濤崎 智佳	自然系教育連合講座	准教授	
宮川 健	自然系教育連合講座	准教授	
川村 知行	芸術系教育連合講座	教授	
後藤 丹	芸術系教育連合講座	教授	
高石 次郎	芸術系教育連合講座	教授	
時得 紀子	芸術系教育連合講座	教授	
平野 俊介	芸術系教育連合講座	教授	
松本 健義	芸術系教育連合講座	教授	
松尾 大介	芸術系教育連合講座	准教授	
伊藤 将和	芸術系教育連合講座	講師	
市川 真澄	生活・健康系教育連合講座	教授	
川崎 直哉	生活・健康系教育連合講座	教授	
得丸 定子	生活・健康系教育連合講座	教授	
光永伸一郎	生活・健康系教育連合講座	教授	
山崎 貞登	生活・健康系教育連合講座	教授	
黎 子椰	生活・健康系教育連合講座	教授	

以上 68 名

## 企画・実施部門等の構成員名簿

平成26年4月1日現在

No.	名称	室長等氏名	室員等氏名	事務担当	備考
1	評価支援室	天野 和孝	野村眞木夫 河合 康 志村 喬 岩崎 浩 小川 茂 光永伸一郎 直原 幹 高石 次郎 杉浦 英樹 加藤 善一 高島 純一 村田 俊行	企画・広報課	
2	知的財産本部	天野 和孝	黎 子 椰 高石 次郎 大森 康正 山口 信幸 岡崎 明弘	研究連携室	
3	地域連携推進室	天野 和孝	戸北 凱惟 石野 正彦 川村 知行 水落 芳明 古閑 晶子 山本隆一郎 光永伸一郎 土田 了輔 齊藤 昭文 田上 弘美	研究連携室	
4	総合学生支援室	西村 俊夫	林 泰 成 木村 吉彦 石野 正彦 上野 光博 亀井 宣幸 恩田 義孝 佐藤 誠一	学生支援課	

---

---

# 一般通報事項

---

---

## ○役員会

### ■第83回役員会

期 日 平成26年3月24日（月）

議 題

- 1 平成26年度年度計画
- 2 平成26年度学内予算
- 3 上越教育大学国際交流推進センターの設置
- 4 上越教育大学学則等の一部改正等
- 5 授業料その他の費用に関する規程の一部改正等
- 6 人事関係諸規則の一部改正
- 7 事務組織規則の一部改正

### ■第84回役員会

期 日 平成26年4月16日（水）

議 題

- 1 総合交流推進室の設置

## ○経営協議会

### ■第42回経営協議会

期 日 平成26年3月24日（月）

議 題

- 1 平成26年度年度計画（経営に関する部分）
- 2 平成26年度学内予算
- 3 人事関係諸規則の一部改正
- 4 授業料その他の費用に関する規程の一部改正等
- 5 平成26年度に係る学内自己点検・評価実施計画

## ○教育研究評議会

### ■第150回教育研究評議会

期 日 平成26年3月13日（木）

議 題

- 1 上越教育大学国際交流推進センターの設置
- 2 上越教育大学学則等の一部改正等
- 3 平成26年度年度計画（経営に関する部分を除く）
- 4 教員人事

- 5 上越教育大学就職委員会規程の一部改正
- 6 教育研究評議会及び教授会に置かれる委員会委員の委嘱
- 7 平成26年度に係る学内自己点検・評価実施計画

■第151回教育研究評議会

期 日 平成26年4月1日（火）

議 題

- 1 学長選考会議委員の選出

■第152回教育研究評議会

期 日 平成26年4月16日（水）

議 題

- 1 総合交流推進室の設置
- 2 教員人事
- 3 委員会委員の委嘱
- 4 大学院定員充足のための取組
- 5 上越教育大学科学研究費助成事業応募資格取扱要項の制定

○教授会

■第172回教授会

期 日 平成26年3月5日（水）

議 題

- 1 平成26年度学部一般入試（前期日程）合格者の判定
- 2 学籍異動
- 3 平成25年度学部卒業判定
- 4 平成25年度大学院修了判定
- 5 平成26年度大学院学校教育研究科専門職学位課程（教職大学院）第2次学生募集

■第173回教授会

期 日 平成26年3月14日（金）

議 題

- 1 平成26年度大学院入試（後期募集）合格者の判定
- 2 平成26年度教育職員免許取得プログラム受講者の判定

■第174回教授会

期 日 平成26年3月20日（木）

議 題

- 1 平成26年度学部一般入試（後期日程）合格者の判定
- 2 平成26年度学部一般入試（後期日程）追加合格者の判定
- 3 平成26年度欠員補充第2次学生募集
- 4 学籍異動

## ■第175回教授会

期 日 平成26年4月23日（水）

議 題

- 1 教員選考委員会の設置
- 2 教授会に置かれる委員会委員の委嘱
- 3 学籍異動
- 4 平成26年度施設利用計画
- 5 平成26年度研究プロジェクトの公募
- 6 研究活動における不正行為の防止
- 7 研究倫理申請の徹底
- 8 平成26年度入学生に係る教育課程の一部変更
- 9 平成26年度就職支援行事

## ○ファカルティ・ディベロップメント研修会（講演会）

平成26年3月3日（月）に「平成25年度ファカルティ・ディベロップメント研修会」を本学において開催した。

この研修会は、本学の授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図るために毎年度実施しており、今回の研修会は、本学教職員及び学生が参加するワークショップ形式で実施した。

教職員34名、学部及び大学院学生26名が参加し、各FD活動をテーマにグループ討議を行った後、各グループから討議内容について発表があった。

## ○平成25年度上越教育大学国際交流のつどい

日頃から本学留学生にご支援いただいている地域の方々と本学教職員等が意見交換を行い、本学の国際交流推進に役立てるとともに相互の親睦を深めることを目的として、平成26年3月5日（水）第1食堂において、平成25年度上越教育大学国際交流のつどいを実施した。

上越市、上越国際交流協会、近郊のロータリークラブ、地域の方々からご出席いただき、本学の国際交流の現状及び留学生の現状と支援について説明した後、留学生の代表2名から1年間の体験発表、留学生と日本人学生との交流の一つである「世界を語ろう」のミニバージョンを行い母国の紹介、留学生による民族舞踊を披露した。その後自由交流を行い、地域の方々との親睦を深めた。



### ○上越教育大学コア・サイエンス・ティーチャー認定証授与式

平成26年3月18日（火）に「上越教育大学コア・サイエンス・ティーチャー認定証授与式」を長岡市教育センターを会場に実施した。

本式典では、C S T養成プログラムを受講した新潟県教育委員会及び新潟市教育委員会派遣の現職教員大学院生9名について、C S T養成プログラム修了を認め、C S T認定証を授与するとともに、2年間の研修成果の発表を行った。

今後、C S T認定者には、新潟県内小・中学校の理科教育における中核的教員としての活躍が期待される。



### ○退職者永年勤続表彰状授与式

平成26年3月31日付け本学退職者のうち勤続期間が30年以上であって、当該勤続期間のうち本法人在職期間が15年以上である者に対して、3月20日（木）学長室において退職者永年勤続表彰状授与式を実施し、次の被表彰者に表彰状を授与するとともに、記念品を贈呈した。

- 小林 恵 教授（学校教育学系）
- 鈴木 情一 教授（学校教育学系）
- 平野 絹枝 教授（人文・社会教育学系）
- 山本 友和 教授（人文・社会教育学系）
- 霜越 隆晴 総合企画部長
- 後藤 公夫 総務課長
- 瀧澤 政之 財務課財務チーム主査

### ○平成26年度新入生図書館利用ガイダンス

新入生に、図書館の施設・設備を案内するとともに自動貸出装置、電動書架等の利用方法を説明した。

- 期 日 平成26年4月9日（水）～16日（水）
- 場 所 附属図書館
- 参加人数 合計20人

### ○平成26年度文献の探し方ガイダンスほか

OPAC(蔵書目録), CiNii Books, CiNii Articles等の使い方の実習を行ったほか, 学外機関への文献複写依頼及び図書借受方法を説明した。

期 日 平成26年4月9日(水)～4月28日(月)

場 所 附属図書館

参加人数 合計63人

### ○ベトナム・ハイフォン市訪問団来学

平成26年4月10日(木)に, ベトナム・ハイフォン市副市長とハイフォンにあるベトナム海洋大学の学長, 副学長を含む訪問団18名が来学した。

この訪問は, 新潟県とハイフォン市との交流及び産業等の視察が目的で, 3日目の当日は上越地域の視察の一環として来学した。

訪問団からは, 来県の目的や県内の大学等との留学生及び教員の交流などについて話があり, 1時間という短い時間ではあったが和やかな雰囲気の中視察を終えた。



## ○公開講座・免許法認定公開講座

平成26年度に実施する公開講座等は次のとおりである。

(※を付した講座については、公開講座に併せて、免許法認定公開講座として実施するものである。)

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
はじめての短歌 ～実作短歌入門～	短歌は、万葉集以来、日本人に最も親しまれてきた詩形ですが、いざ作るとなると「難しそう」と感じる人も多いと思います。でも、そんなことはありません。 講座では、初回到歌作りの基本的な考え方をお話した後、2回目からは各自が作品を持ち寄り、相互に批評しあうことによって、歌作りの勘どころを学んでいきます。 短歌を通じ自己表現の手法を学べば、他の文学作品を鑑賞する上でもきっと新しい視界が開かれることでしょう。	人文・社会 教育学系 松田 慎也 教授	5月6日(火) 5月13日(火) 5月20日(火) 5月27日(火) 6月3日(火) 6月10日(火) 6月17日(火) 6月24日(火) 7月1日(火) 7月8日(火)  全10回	19:00～20:30 (1時間30分)  計15時間	上越教育大学 (山屋敷キャンパス)  人文棟1階 101教室	市民一般 (入門) 10人  最小実施 人数2人
体操教室 I	小学生を対象として、マット、とび箱、鉄棒、平均台、トランポリンなどの器械運動を中心に行う体操教室です。	芸術・体育 教育学系 周東 和好 准教授	5月11日(日) 5月18日(日) 6月1日(日) 6月8日(日) 6月15日(日)  全5回	14:00～16:00 (2時間)  計10時間	上越教育大学 (山屋敷キャンパス)  小体育館2階 トレーニング室	小学生 20人  最小実施 人数1人
「声」のワークショップ ～わたしの声を大切に！～	自分の「声」で表現しませんか？自分自身の「声」をさまざまに使って、〈自分らしさ〉と〈自分らしくなさ〉を表現しわけてみましょう。すると自己認識や他者理解に関するさまざまな発見がもたらされるはずです。そうした体験を通して、「声」が他者に対して及ぼす影響と、「声」が自分自身に対して果たす効果とを考えます。毎回、日本語音声表現についての初歩的レッスンから始めます。自分の「声」を楽しく見つめ直しましょう。	人文・社会 教育学系 高本 條治 准教授	5月31日(土) 6月7日(土) 6月14日(土) 6月21日(土) 6月28日(土) 7月5日(土)  全6回	14:10～15:50 (1時間40分)  計10時間	上越市立高田 図書館  第1会議室	中学生 高校生 市民一般 (入門) 12人  最小実施 人数5人



講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
はじめての陶芸	ひも作りと板作り技法でマグカップや皿を成形し、釉薬を掛けて焼成します。	芸術・体育 教育学系 高石 次郎 教授	6月15日(日) 6月29日(日) 7月6日(日)  全3回	6月15日(日) 10:00~15:00 (4時間, 昼 食休憩1時間)  6月29日(日) 13:00~15:00 (2時間)  7月6日(日) 10:00~11:00 (1時間)  計7時間	上越教育大学 (山屋敷キャンパス)  美術棟1階 陶芸室	市民一般 (初級) 15人  最小実施 人数10人
Scratchによるプログラミング講座	ゲームもエアコンも、みんなプログラミングされています。でも、プログラミングってなんだろう? どうすれば作れるのだろうか? そんな疑問について、親子で「ゲーム」を作ったり、「動くおもちゃ」を作ったりして、プログラミングの基本を楽しく学びましょう。もちろん、プログラミングの経験がなくても楽しめます。	自然・生活 教育学系 大森 康正 准教授	7月26日(土) 8月2日(土) 8月9日(土)  全3回	13:00~16:00 (3時間)  計9時間	上越教育大学 (山屋敷キャンパス)  教育情報訓練 室1	小学生 (4年生以上) 5人  最小実施 人数2人
少年少女スポーツ教室I (山屋敷サッカークラブ低学年)	小学校4年生以下の子どものためのスポーツ教室です。毎回、サッカーのテクニックの練習や参加者同士で試合を行います。また、ティーボール、ドッジボール、ホッケーなどのサッカー以外のスポーツ体験を通して、投げる、捕る、打つ、走る、止まる、方向を変えるなどスポーツの基礎となる「動きづくり」を行います。	芸術・体育 教育学系 榊原 潔 准教授	7月27日(日) 7月30日(水) 7月31日(木) 8月19日(火) 8月20日(水) 8月21日(木)  全6回	9:00~10:30 (1時間30分)  計9時間	上越教育大学 (山屋敷キャンパス)  体育館	小学生 (1~4年生) 40人  最小実施 人数8人

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
木琴をつくろう	<p>木材には軽くて強い性質のほか、音をよく伝える性質があります。そのため、木材を利用したさまざまな楽器がつくられています。</p> <p>この講座では、木材の性質を学び、のこぎりで音板の長さを調節し、絵の具で音板をデザインし、世界に一つだけの木琴をつくります。</p>	<p>自然・生活教育学系 東原 貴志 准教授</p>	<p>8月5日(火) 8月6日(水)</p> <p>全2回</p>	<p>9:30～11:30 (2時間)</p> <p>計4時間</p>	<p>上越教育大学 (山屋敷キャンパス)</p> <p>第2講義棟 003共用講義演習室</p>	<p>小学生 (3～6年生) 20人</p> <p>最小実施人数1人</p>
「楽しい」入門マジック教室 ～簡単な手品をやってみよう～	<p>あなたも巷のエンターテイナーになってみませんか。身近なものを使い簡単なマジック(手品)の極意を身につけませんか。具体的に、マジックのねらい、自作のマジック教材作成、マジックの手順、などです。できる限り多くの簡単なマジックを身につけましょう。「マジックを初めてやってみたい方(入門者)のみ」のための講座です。講座は3年目ですが、その内容は過去にやっていないマジックです。</p> <p>新しいマジックで「エイ、エイ、オー」です。</p>	<p>人文・社会教育学系 石濱 博之 准教授</p>	<p>8月7日(木)</p> <p>全1回</p>	<p>10:00～16:00 (5時間, 昼食休憩1時間)</p> <p>計5時間</p>	<p>上越教育大学 (山屋敷キャンパス)</p> <p>人文棟2階 208教室</p>	<p>市民一般(入門) 現職教員 5人</p> <p>最小実施人数1人</p>

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
世界のボードゲーム・カードゲーム ～ゲームで社会・異文化を体験しよう～	<p>日本でゲームといえば、まずビデオゲームが想起されますが、ヨーロッパ（特にドイツ）では、1990年頃からボードゲーム・カードゲームが発達し、家族や友人などがテーブルを囲んで直接コミュニケーションをとりながらゲームを楽しむ文化が定着してきています。日本でも、人生ゲームやモノポリー・ウノなどは知られていますが、ドイツのボードゲームやその文化はまだあまり知られていない状況にあります。</p> <p>本講座では、実際にいくつかのボードゲームをプレイして、楽しみながら異文化の世界を体験します。教材として、ボードゲームをひとつ持ち帰り、ご自宅等で家族などと“復習”を楽しんでもらうことができます。</p>	人文・社会 教育学系 小島 伸之 准教授	8月9日（土）  全1回	10:00～17:00 （6時間、昼 食休憩1時間）  計6時間	上越教育大学 （山屋敷キャンパス）  人文棟1階 107教室	中学生 高校生 市民一般 （入門） 16人  最小実施 人数4人
「小学校外国語活動」進め方入門	<p>「だれでもできる」「ためになる」「楽しい」小学校外国語活動の授業づくりをねらいとします。</p> <p>その内容は、理論編と実践編を組み合わせた演習形式で実施します。</p> <p>具体的には、学習指導要領に基づく外国語活動のねらいや意義、カリキュラムデザイン、授業の枠組みの作り方、指導方法、ゲームの活動、歌の活動、教材・教具のあり方、授業展開事例、評価の考え方と方法、教室英語などを提供します。できる限り、最新の情報を提供します。</p>	人文・社会 教育学系 石濱 博之 准教授	8月19日（火） 8月20日（水）  全2回	10:00～16:00 （5時間、昼 食休憩1時間）  計10時間	上越教育大学 （山屋敷キャンパス）  人文棟2階 208教室	市民一般 （入門） 現職教員 10人  最小実施 人数1人

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
人物画を描く～デッサンと水彩～	<p>人体の構造を学びながら人物デッサンをし、そのデッサンをもとに水彩制作(F20号)をします。</p> <p>1回目；日本画における人物制作について解説とクロッキー</p> <p>2回目；人物デッサンと下図制作</p> <p>3・4回目；制作</p>	<p>芸術・体育教育学系</p> <p>洞谷 亜里佐 教授</p>	<p>8月20日(水)</p> <p>8月24日(日)</p> <p>8月30日(土)</p> <p>8月31日(日)</p> <p>全4回</p>	<p>9:00～15:00 (5時間, 昼食休憩1時間)</p> <p>計20時間</p>	<p>上越教育大学(山屋敷キャンパス)</p> <p>美術棟3階 日本画室</p> <p>美術棟2階 造形演習室</p>	<p>中学生 高校生 市民一般 (入門・初級・中級・上級) 現職教員 20人</p> <p>最小実施人数5人</p>
木彫を楽しむ	<p>日本では、古代から木に親しむ文化を育み、木を用いて様々な造形を試みてきました。自然の一部である木と対話しながら、コツコツと刻み、新しい命ある形を産み出していく楽しさは、他には得難い喜びです。</p> <p>木彫は素材の扱い、刃物の手入れなどの技術が必要ですが、本講座では、基礎的な内容を身につけながら、木彫を楽しんでいきます。</p>	<p>芸術・体育教育学系</p> <p>松尾 大介 准教授</p>	<p>8月30日(土)</p> <p>8月31日(日)</p> <p>全2回</p>	<p>9:00～16:00 (6時間, 昼食休憩1時間)</p> <p>計12時間</p>	<p>上越教育大学(山屋敷キャンパス)</p> <p>美術棟 108木彫室</p>	<p>中学生 高校生 市民一般 (入門)</p> <p>8人</p> <p>最小実施人数3人</p>
エッセイの数学	<p>M. C. エッセイの作品「円の極限IV(天国と地獄)」(1960年)は、無限を有限のなかに閉じ込めたものとして有名です。この作品には双曲幾何学という非ユークリッド幾何学が用いられています。本講座では、双曲幾何学の基礎から双曲タイル張りに関する基本定理まで解説します。</p>	<p>自然・生活教育学系</p> <p>中川 仁 教授</p>	<p>9月5日(金)</p> <p>9月12日(金)</p> <p>9月19日(金)</p> <p>9月26日(金)</p> <p>10月3日(金)</p> <p>全5回</p>	<p>19:00～21:00 (2時間)</p> <p>計10時間</p>	<p>上越教育大学(山屋敷キャンパス)</p> <p>人文棟1階 101教室</p>	<p>高校生 市民一般 (中級)</p> <p>現職教員 10人</p> <p>最小実施人数3人</p>

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
『伊勢物語』を江戸期版本で読む	『伊勢物語』は江戸時代に最も多く出版された古典文芸作品です。長短の章段で織りなされた物語は多様な解釈を許すがゆえに、江戸期には多くの講義が行われ、様々な注解も生まれました。個々の章段理解を方向づける挿絵や絵図にもいくつかのバリエーションがあります。 この講座では、注釈や挿絵を参照しながら、江戸期に出版された『伊勢物語』の代表的な版本を取り挙げ、参加者全員で解説し解釈していきます。謎は、謎を呼びます。	人文・社会 教育学系 高本 條治 准教授	9月6日(土) 9月13日(土) 9月20日(土) 9月27日(土) 10月4日(土) 10月11日(土)  全6回	14:10～15:50 (1時間40分)  計10時間	上越市立高田 図書館  第1会議室	高校生 市民一般 (初級) 現職教員 10人  最小実施 人数5人
体操教室Ⅱ	小学生を対象として、マット、とび箱、鉄棒、平均台、トランポリンなどの器械運動を中心に行う体操教室です。	芸術・体育 教育学系 周東 和好 准教授	10月5日(日) 10月13日(月) 10月19日(日) 11月9日(日) 11月16日(日)  全5回	14:00～16:00 (2時間)  計10時間	上越教育大学 (山屋敷キャンパス)  小体育館2階 トレーニング室	小学生 20人  最小実施 人数1人
遺伝の仕組み	カエルの子はカエルと言いますが、それは当たり前のこと、別に不思議に思われないかもしれませんね。でも、当たり前のことがどうして起こるのか、その仕組みである遺伝現象について学んでみませんか。中学校で学ぶメンデルの遺伝の法則から、親から子に伝わる遺伝子の本体「DNA」の性質と働きまで、簡単な実験や、最近の関連事例紹介(DNA鑑定、PCR検査等)も行って平易に解説します。	学校教育学系 五百川 裕 准教授	10月7日(火) 10月14日(火) 10月21日(火) 10月28日(火) 11月4日(火) 11月11日(火)  全6回	18:00～20:00 (2時間)  計12時間	上越教育大学 (山屋敷キャンパス)  自然棟4階 植物分類系統 実験室	高校生 市民一般 (初級) 現職教員 5人  最小実施 人数3人

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
短詩の世界 ～詩学の見方で読んで書く～	有名な短い「短詩」を読みましよう。自分で「短詩」を書いてみましょう。そして、みんなで語らいましよう。「短詩」には俳句も短歌も含まれますが、それだけには限定されません。伝統的・形式的な約束ごとにこだわる読み方や書き方ではなく、人間らしい解釈や自分らしい表現につながる発想こそが大切です。それが「詩学」(ポエティックス)の見方です。詩学に触れると他者の「詩」が違って見えます。自分の「詩」も違って見えます。	人文・社会 教育学系 高本 條治 准教授	10月18日(土) 10月25日(土) 11月1日(土) 11月8日(土) 11月15日(土) 11月22日(土)  全6回	14:10～15:50 (1時間40分)  計10時間	上越市立高田 図書館  第1会議室	中学生 高校生 市民一般 (入門) 10人  最小実施 人数5人
理科野外観察 指導実習A 海の楽校 ※	実習の場を海とし、海に生息する多種多様な生物の野外観察を通して、その生息環境や生物同士の関係を考え、海における野外観察のあり方、素材の提供、運営方法、指導方法、安全対策を現地で実際に学ぶことを目的とします。	渡邊 憲一 非常勤講師	6月28日(土) 6月29日(日)  2日間	9:00～17:00	新潟県立海洋 高等学校 栽培漁業臨海 実習棟	市民一般 (初級～中 級) 現職教員 10人
理科野外観察 指導実習C 川の楽校 ※	実習の場を川とし、川に生息する多種多様な生物の野外観察を通して、その生息環境や生物同士の関係を考え、川における野外観察のあり方、素材の提供、運営方法、指導方法、安全対策を現地で実際に学ぶことを目的とします。	自然・生活 教育学系 中村 雅彦 教授	8月9日(土) 8月10日(日)  2日間	9:00～17:00	正善寺川	市民一般 (初級～中 級) 現職教員 10人
理科野外観察 指導実習D ミクロの世界 ※	池や沼などでみられる浮遊生物(プランクトン)について、そのサンプリング方法や観察法について実習を通して指導します。 また、走査電子顕微鏡、透過電子顕微鏡等を実際に操作しながら、プランクトンの生きた姿と微細形態の観察・撮影を行います。	自然・生活 教育学系 小川 茂 教授	8月7日(木) 8月8日(金)  2日間	9:00～17:00	上越教育大学 (山屋敷キャンパス)	市民一般 (初級・中 級) 現職教員 10人

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
理科野外観察 指導実習E 身近な植物 ※	身近に生育する植物の分類、形態、生態についての観察指導のポイントを、校庭や路傍、里山の雑木林や湿地を観察場所とした実習を通して学びます。名前を知らなくとも植物の野外観察はできることを体験し、野外観察指導実践を阻むバリアーの低減をめざします。	自然・生活 教育学系 谷 友和 講師	8月25日(月) 8月26日(火)  2日間	9:00～17:00	上越教育大学 (山屋敷キャンパス)及び 近隣の山野	市民一般 (初級・中級) 現職教員 10人
理科野外観察 指導実習F 化石を読む ※	初等中等教育では野外での地層観察や化石採集が求められています。 本実習では、地層観察方法や化石採集方法を実習し、採集された化石などから地質時代や古環境を検討します。	自然・生活 教育学系 天野 和孝 副学長	8月28日(木) 8月29日(金)  2日間	9:00～17:00	愛の風～滝 寺, 金谷山, 平山～儀明	市民一般 (初級・中級) 現職教員 10人
理科野外観察 指導実習H 大気を調べる ※	1泊2日の日程で気象観測実習を行います。小・中学校のカリキュラムに出てくる、太陽の日周運動、気温と湿度の日変化、雲形・雲量、海風循環等の現象を対象とした独自の観測結果をインターネット上に公開される気象情報と比較しながら、現象の理解や説明の方法等を習得させます。	中川 清隆 非常勤講師	6月7日(土) 6月8日(日)  2日間	9:00～17:00	上越教育大学 (山屋敷キャンパス)	市民一般 (初級・中級) 現職教員 10人
理科野外観察 指導実習I 星の一日 ※	1泊2日の日程で星の観測実習を行います。小学校3年、4年、6年の理科及び中学校理科第2分野の天文単元に出てくる、太陽、月、星座の日周運動及び星の観測の指導に適した季節、場所、方法等について、実際に観測しながら学びます。	自然・生活 教育学系 濤崎 智佳 准教授	10月11日(土) 10月12日(日)  2日間	9:00～17:00	星のふるさと 館 (新潟県上越 市清里区)	市民一般 (初級・中級) 現職教員 10人

講座名	講座概要	講師	実施期間	開設時間	実施場所	定員
理科野外観察 指導実習J 自然の見方 ※	実習の場を学内とし、食物連鎖の観点から林と池に生息する多種多様な生物とその相互関係を観察しながら、食物連鎖の野外観察のあり方、素材の提供、運営方法、指導方法、安全対策を現地で実際に学ぶことを目的とした講座です。	自然・生活 教育学系 中村 雅彦 教授	9月6日(土) 9月7日(日)  2日間	9:00～17:00	上越教育大学 (山屋敷キャンパス)	市民一般 (初級・中級) 現職教員 10人

※理科野外観察指導実習B、Gは、平成26年度は休講



○海外渡航

	職名	氏名	渡航目的国	用務	期間	備考
1	准教授	齋藤 敏夫	イタリア	Carlo Petronio氏(Univ. of Pisa)および古宇田悠哉氏(JSPS)との研究打合せ	平成26年3月5日～ 平成26年3月12日	外国出張
2	教授	梅野 正信	韓国	戦前前期朝鮮総督府関係資料の調査・複写のため	平成26年3月9日～ 平成26年3月12日	外国出張
3	講師	河野麻沙美	インドネシア	授業研究に関する共同研究	平成26年3月13日～ 平成26年3月31日	外国出張
4	准教授	堀 健志	韓国	海外との研究交流「東アジアの社会的トラッキングとその多様性」に関する情報収集のため	平成26年3月20日～ 平成26年3月24日	外国出張
5	校長	河合 康	オーストラリア	ウェストミンスター・スクールとの交流(訪問)に係る事前視察のため	平成26年3月20日～ 平成26年3月24日	外国出張
6	教諭	西澤 知実	オーストラリア	ウェストミンスター・スクールとの交流(訪問)に係る事前視察のため	平成26年3月20日～ 平成26年3月24日	外国出張
7	准教授	野地 美幸	オーストラリア	ウェストミンスター・スクールとの交流(訪問)に係る事前視察のため	平成26年3月20日～ 平成26年3月24日	外国出張
8	教授	平野 絹枝	アメリカ	①AAA2014(アメリカ国際応用言語学会)における言語テストの発表及び資料収集 ②TESOL2014(英語教授法学会2014国際大会)出席及び教授法に関する資料収集	平成26年3月21日～ 平成26年3月28日	外国出張
9	准教授	生澤 繁樹	アメリカ	アメリカ学校改革論に関する調査および資料・情報収集のため	平成26年3月22日～ 平成26年3月27日	外国出張
10	講師	長谷川正規	台湾	研究プロジェクトに係る資料収集・打ち合わせ	平成26年3月23日～ 平成26年3月26日	外国出張
11	教授	下里 俊行	ロシア	科研費補助金・基盤研究(C)「19世紀ロシア帝国の文化統合における保守思想の役割に関する基礎的研究」のための資料調査	平成26年3月23日～ 平成26年3月30日	外国出張
12	教授	大前 敦巳	フランス	科研課題「日仏の新構想大学における職業養成教育の形成過程に関する比較社会学研究」における、パリ周辺地域とルアーブルで1960年代に創設された新構想大学での聞き取り調査及び資料収集	平成26年3月23日～ 平成26年4月3日	外国出張
13	教授	五十嵐透子	アメリカ	①ハワイ・パシフィック大学心理学部での研究者間交流 ②開業心理士との溜め込み症に関する情報収集 ③ACA2014年カンファレンス・エキスポ・プレ研修受講およびカンファレンス参加	平成26年3月24日～ 平成26年3月31日	外国出張
14	准教授	林田 秀一	中国	同済大学に於いて開催される研究集会「Explicit Theory of Automorphic Forms」に参加し講演を行う為	平成26年3月26日～ 平成26年3月29日	外国出張
15	教授	北條 礼子	台湾	異文化資料収集	平成26年3月27日～ 平成26年3月31日	外国出張
16	准教授	洞谷亜里佐	台湾	美術コース国際交流展への出席、及び資料収集のため	平成26年3月27日～ 平成26年3月31日	外国出張
17	准教授	松尾 大介	台湾	美術コース国際交流展への出席、及び資料収集のため	平成26年3月27日～ 平成26年3月31日	外国出張
18	准教授	辻野けんま	トルコ	第34回国際教師教育学会に参加し発表を行う	平成26年4月21日～ 平成26年4月27日	外国出張

平成26年度上越教育大学学校教育学部入学試験の状況

( )内は女子で内数

区分	推薦入試 (募集人員 50人)				一般入試 (募集人員 110人)				私費外国人留学生特別入試 (募集人員 若干名)				計 (募集人員 160人)			
	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者
北海道					(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1					(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1
青森県	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1									(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1
岩手県	(1) 1	(1) 1											(1) 1	(1) 1		
宮城県	(2) 2	(2) 2	(2) 2	(2) 2	(6) 7	(1) 1	(1) 1	(1) 1					(8) 9	(3) 3	(3) 3	(3) 3
秋田県	(1) 2	(1) 2	1 1	1 1	(1) 4	(1) 3	2 2	2 2					(2) 6	(2) 5	3 3	3 3
山形県	(1) 1	(1) 1			(3) 4	(3) 3							(4) 5	(4) 4		
福島県	(4) 4	(4) 4			(4) 7	(2) 3	(2) 3	(1) 1					(8) 11	(6) 7	(2) 3	(1) 1
茨城県	(2) 4	(2) 4			(1) 6	3 3	1 1	1 1					(3) 10	(2) 7	1 1	1 1
栃木県	(5) 8	(5) 8	(1) 3	(1) 3	(8) 19	(4) 10	(3) 8	(3) 7					(13) 27	(9) 18	(4) 11	(4) 10
群馬県	(6) 9	(5) 8	(2) 4	(2) 4	(13) 38	(4) 14	(2) 9	(2) 8					(19) 47	(9) 22	(4) 13	(4) 12
埼玉県	1 1	1 1			(1) 3	1 1							(1) 4	2 2		
千葉県	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(2) 3								(3) 4	(1) 1	(1) 1	(1) 1
東京都					(1) 7	4 4	3 3	2 2					(1) 7	4 4	3 3	2 2
神奈川県	1 1	1 1			3 3	2 2	1 1	1 1					4 4	3 3	1 1	1 1
新潟県	(15) 28	(15) 28	(6) 14	(6) 14	(88) 184	(42) 94	(11) 39	(9) 36					(103) 212	(57) 122	(17) 53	(15) 50
富山県	(4) 7	(4) 7			(14) 27	(11) 18	(3) 8	(2) 7					(18) 34	(15) 25	(3) 8	(2) 7
石川県	(11) 17	(9) 14	(3) 5	(3) 5	(27) 47	(18) 31	(9) 16	(9) 15					(38) 64	(27) 45	(12) 21	(12) 20
福井県	(3) 3	(3) 3	(3) 3	(3) 3	(6) 10	(4) 6	(2) 4	(2) 4					(9) 13	(7) 9	(5) 7	(5) 7
山梨県	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(2) 6	(1) 4	(1) 4	(1) 3					(3) 7	(2) 5	(2) 5	(2) 4
長野県	(21) 27	(21) 27	(10) 11	(10) 11	(50) 88	(24) 41	(10) 19	(8) 17					(71) 115	(45) 68	(20) 30	(18) 28
岐阜県	(2) 3	(2) 3	(1) 2	(1) 2	(1) 4								(3) 7	(2) 3	(1) 2	(1) 2
静岡県	1 1	1 1	1 1	1 1	(3) 8	2 2	1 1	1 1					(3) 9	3 3	2 2	2 2
愛知県					(4) 14	(2) 6	(2) 6	(2) 5					(4) 14	(2) 6	(2) 6	(2) 5
三重県																
滋賀県					(1) 4	2 2	2 2	2 2					(1) 4	2 2	2 2	2 2
京都府																
大阪府																
兵庫県	1 1	1 1			(3) 3	(2) 2	(2) 2	(2) 2					(3) 4	(2) 3	(2) 2	(2) 2
奈良県					1 1	1 1	1 1	1 1					1 1	1 1	1 1	1 1
和歌山県																
鳥取県																
島根県	(1) 1	(1) 1			(1) 1								(2) 2	(1) 1		
岡山県																
広島県																
山口県																
徳島県	(1) 1	(1) 1			1 1								(1) 2	(1) 1		
香川県																
愛媛県	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1								(2) 2	(1) 1	(1) 1	(1) 1
高知県					(1) 1								(1) 1			
福岡県																
佐賀県																
長崎県																
熊本県																
大分県																
宮崎県																
鹿児島県																
沖縄県					(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1					(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1
その他																
計	(84) 126	(81) 122	(32) 50	(32) 50	(244) 503	(121) 253	(50) 132	(44) 118					(328) 629	(202) 375	(82) 182	(76) 168
		応募者/合格者 2.5倍	男 36.0% 女 64.0%			応募者/合格者 3.8倍	男 62.7% 女 37.3%							応募者/合格者 3.5倍	男 54.8% 女 45.2%	

備考欄

○平成26年度 大学院学校教育研究科入学試験状況

■ 課程・専攻・コース別

課程	専攻・コース	前期募集 (試験日:25.8.23)					中期募集 (試験日:25.11.23)					合計(前期・中期募集)					後期募集 (試験日:26.3.4)					教職大学院第2次募集 (試験日:26.3.18)					合 計											
		募集人員	応募者	受験者	合格者	入学者	募集人員	応募者	受験者	合格者	入学者	入学定員	応募者	受験者	合格者	入学者	募集人員	応募者	受験者	合格者	入学者	募集人員	応募者	受験者	合格者	入学者	募集人員	応募者	受験者	合格者	入学者	入学定員	応募者	受験者	合格者	入学者		
修士課程	学校教育専攻	96	92	90	78	62	53	34	33	26	20	120	126	123	104	82	42	24	23	12	9																	
	学校臨床研究コース	54	32	31	29	24	41	5	4	4	4	[70]	53	51	48	39	31	2	2	2	2																	
	臨床心理学コース	18	37	37	27	19	若干人	8	8	2		[18]	45	45	29	19	若干人	11	10	1	1																	
	幼児教育コース	5	1	1	1		6					[7]	1	1	1		6	1	1	1	1																	
	特別支援教育コース	19	22	21	21	19	6	5	5	5	5	[25]	27	26	26	24	5	4	4	4	4																	
	教科・領域教育専攻	104	71	69	65	56	65	35	35	32	28	130	106	104	97	84	50	32	30	25	23																	
	言語系コース	20	13	13	13	12	12	10	10	8	5	[25]	23	23	21	17	7	9	7	5	5																	
	社会系コース	18	12	12	11	9	12	5	5	5	5	[23]	17	17	16	14	10	2	2	1	1																	
	自然系コース	22	13	12	10	9	17	5	5	4	3	[27]	18	17	14	12	16	6	6	4	4																	
	芸術系コース	22	12	11	11	9	16	5	5	5	5	[27]	17	16	16	14	12	8	8	8	7																	
生活・健康系コース	22	21	21	20	17	8	10	10	10	10	[28]	31	31	30	27	5	7	7	7	7																		
小 計		200	163	159	143	118	118	69	68	58	48	250	232	227	201	166	92	56	53	37	32																	
専門職学位課程	教育実践高度化専攻	40	32	31	31	22	23	17	16	16	14	50	49	47	47	36	26	11	11	11	9	10																
	教育実践リーダーコース	24	29	28	28	19	6	16	15	15	13	[30]	45	43	43	32	10	8	8	8	6	5																
	学校運営リーダーコース	16	3	3	3	3	17	1	1	1	1	[20]	4	4	4	4	16	3	3	3	3	5																
	小 計	40	32	31	31	22	23	17	16	16	14	50	49	47	47	36	26	11	11	11	9	10																
合 計		240	195	190	174	140	141	86	84	74	62	300	281	274	248	202	118	67	64	48	41	10																

※1 入学定員欄の〔〕内は、標準学生数を示す。  
 2 ( )内は、現職教員で3年以上の教職経験者数を示し内数である。  
 3 応募者及び受験者は、第1志望の人数を示している。

■ 都道府県別

区分	前期募集				中期募集				後期募集				合計			
	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者	応募者	受験者	合格者	入学者
北海道	2	2	2	1	1	1	1	1					3	3	3	2
青森県	1	1	1	1					1	1	1	1	2	2	2	2
岩手県	(1) 3	(1) 3	(1) 3	(1) 2	(1) 3	(1) 2	(1) 2	(1) 2					(2) 6	(2) 5	(2) 5	(2) 4
宮城県	2	2	2		(2) 3	(1) 2	(1) 2	(1) 2	1	1			(2) 6	(1) 5	(1) 4	(1) 2
秋田県	(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 2	1	1	1	1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(2) 4	(2) 4	(2) 4	(2) 4
山形県	1	1	1	1	3	3	3	3					4	4	4	4
福島県	(2) 3	(2) 3	(2) 2	(2) 2					2	2	1	1	(2) 5	(2) 5	(2) 3	(2) 3
茨城県	1	1	1										1	1	1	
栃木県																
群馬県	4	4	3	3	(4) 5	(4) 5	(4) 5	(4) 5					(4) 9	(4) 9	(4) 8	(4) 8
埼玉県	13	12	11	9	3	3	2	1	3	3	2	1	19	18	15	11
千葉県	(1) 3	(1) 3	(1) 3	(1) 3	1	1	1	1	2	2	1	1	(1) 6	(1) 6	(1) 5	(1) 5
東京都	(2) 36	(1) 34	(1) 31	(1) 26	22	22	18	17	16	15	11	7	(2) 74	(1) 71	(1) 60	(1) 50
神奈川県	9	9	8	4	5	5	5	5	6	6	6	6	20	20	19	15
新潟県	(21) 49	(21) 48	(21) 44	(21) 41	14	14	12	9	(12) 21	(12) 20	(12) 18	(12) 18	(33) 84	(33) 82	(33) 74	(33) 68
富山県	(2) 6	(2) 6	(2) 6	(2) 3	4	4	4	3	1	1			(2) 11	(2) 11	(2) 10	(2) 6
石川県	(1) 12	(1) 12	(1) 11	(1) 9	3	3	2	1	1	1	1	1	(1) 16	(1) 16	(1) 14	(1) 11
福井県	1	1	1										1	1	1	
山梨県	5	5	5	4	3	3	3	1					8	8	8	5
長野県	(3) 16	(3) 15	(2) 13	(2) 8	4	4	3	3	1	1	1	1	(3) 21	(3) 20	(2) 17	(2) 12
岐阜県	(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 2					1	1			(1) 3	(1) 3	(1) 2	(1) 2
静岡県	(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 2	(1) 1					(2) 4	(2) 4	(2) 4	(2) 3
愛知県	(1) 5	(1) 5	(1) 4	(1) 4	2	2	2	2	1	1	1		(1) 8	(1) 8	(1) 7	(1) 6
三重県	2	2	1						1				3	2	1	
滋賀県	1	1	1	1									1	1	1	1
京都府	3	3	3	2	1	1			5	5	2	1	9	9	5	3
大阪府					2	2	2	1					2	2	2	1
兵庫県	1	1	1	1					1	1	1	1	2	2	2	2
奈良県	1	1	1	1									1	1	1	1
和歌山県	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1									(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1
鳥取県																
島根県																
岡山県																
広島県																
山口県																
徳島県																
香川県	(1) 1	(1) 1	(1) 1	1									(1) 1	(1) 1	(1) 1	1
愛媛県	1	1	1	1									1	1	1	1
高知県	1	1	1	1									1	1	1	1
福岡県																
佐賀県	1	1	1	1									1	1	1	1
長崎県																
熊本県																
大分県																
宮崎県																
鹿児島県	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1									(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1
沖縄県	2	2	2	1	2	2	2	1					4	4	4	2
外国	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	1	1	5	5	4	4
計	(40) 195	(39) 190	(38) 174	(37) 140	(8) 86	(7) 84	(7) 74	(7) 62	(13) 67	(13) 64	(13) 48	(13) 41	(61) 348	(59) 338	(58) 296	(57) 243

注) 1 ( )内は、現職教員(3年以上の教職経験を有する者)を内数で示す。

## 主要日誌

### ■大学

月 日	事 項
3月3日 (月)	第29回評価支援室会議 ファカルティ・ディベロップメント研修会
3月4日 (火)	平成26年度大学院入試 (後期募集)
3月5日 (水)	第172回教授会 第14回入学試験委員会 第73回大学評価委員会 平成25年度国際交流のつどい 第11回衛生委員会
3月6日 (木)	第3回教育職員免許取得プログラム支援室会議 平成25年度課外活動団体リーダーズ・トレーニング研修 (～7日 (金))
3月7日 (金)	平成26年度学部一般入試 (前期日程) 合格者発表
3月11日 (火)	第2回CST養成事業実施委員会
3月12日 (水)	平成26年度学部一般入試 (後期日程) 第3回学校教育実践研究センター運営委員会
3月13日 (木)	第150回教育研究評議会 第15回入学試験委員会 第60回大学改革委員会 第8回学生委員会 第4回附属図書館運営委員会
3月14日 (金)	第173回教授会
3月17日 (月)	学長と平成25年度修了留学生及び在籍留学生との懇談会 第5回学術研究委員会 第14回教務委員会 第3回附属学校運営委員会 第2回上越教育大学出版会出版企画委員会
3月18日 (火)	平成26年度大学院入試 (後期募集) 合格者発表 第5回就職委員会 コア・サイエンス・ティーチャー認定証授与式 第3回研究活動の不正行為対策委員会
3月19日 (水)	平成25年度学位記授与式 平成25年度卒業証書・学位記授与式 学生表彰式
3月20日 (木)	第174回教授会 第16回入学試験委員会 第5回ファカルティ・ディベロップメント委員会 退職者永年勤続表彰状授与式
3月21日 (金)	平成26年度学部一般入試 (後期日程) 合格者発表
3月24日 (月)	第83回役員会 第42回経営協議会
3月28日 (金)	第44回カリキュラム企画運営会議
4月1日 (火)	第151回教育研究評議会
4月2日 (水)	第1回衛生委員会
4月3日 (木)	第1回教育実習委員会
4月4日 (金)	平成26年度新任職員研修
4月7日 (月)	平成26年度入学式 平成26年度新入生オリエンテーション (～8日 (火))
4月9日 (水)	CST養成プログラム受講希望学生への説明会 第1回教育実習協力校 (園) 会議 情報セキュリティ講演会 新入生ノートパソコン準備講習会 (～25日 (金) ※水及び金曜日のみ) 平成26年度新入生図書館利用ガイダンス (～16日 (水) ※平日のみ) 平成26年度文献の探し方ガイダンスほか (～28日 (月) ※平日のみ)

月 日	事 項
4月10日 (木)	ベトナム・ハイフォン市訪問団来学 留学生オリエンテーション
4月15日 (火)	第1回教員免許状更新講習実施委員会
4月16日 (水)	第1回学術研究委員会 第84回役員会 第152回教育研究評議会
4月17日 (木)	第61回大学改革委員会 第45回カリキュラム企画運営会議
4月18日 (金)	第1回教務委員会
4月21日 (月)	第1回学校教育実践研究センター運営委員会
4月22日 (火)	第1回セクシュアル・ハラスメント等人権侵害対策委員会
4月23日 (水)	第175回教授会 第1回入学試験委員会 平成26年度ボランティア体験連絡会 第35回連合大学院委員会
4月24日 (木)	第1回学生委員会 第30回評価支援室会議 第29回情報・広報委員会
4月25日 (金)	第1回研究倫理審査委員会 第1回国際交流推進センター運営委員会 第1回配分予算検討委員会 第1回学校ボランティア支援室会議 平成26年度新入生合宿研修(～26日(土)) 第1回男女共同参画推進委員会

■附属幼稚園

月 日	事 項
3月17日 (月)	第20回修了証書授与式
3月19日 (水)	第3学期終業式
3月26日 (水)	離任式
4月1日 (火)	開園記念日
4月7日 (月)	一日入園
4月8日 (火)	新任式 第1学期始業式
4月9日 (水)	第23回入園式

■附属小学校

月 日	事 項
3月3日 (月)	第2回学校評議員会
3月10日 (月)	2年1組, 3・4年PTA
3月15日 (土)	平成26年度欠員児童入学選考検査・合格発表
3月17日 (月)	第3学期終業式
3月18日 (火)	第33回卒業証書授与式
3月19日 (水)	学年末休業(～31日(月))
3月26日 (水)	離任式
4月1日 (火)	開校記念日
4月2日 (水)	春季休業(～7日(月))
4月8日 (火)	新任式 第1学期始業式 第34回入学式
4月10日 (木)	発育測定
4月11日 (金)	5・6年PTA
4月14日 (月)	3・4年PTA 内科検診(5・6年)
4月15日 (火)	2年PTA
4月16日 (水)	1年PTA

月 日	事 項
4月17日 (木)	歯科検診
4月21日 (月)	内科検診 (1・2年)
4月22日 (火)	全国学力・学習状況調査 (6年)
4月23日 (水)	視力・聴力検査 (1・3・5年)
4月24日 (木)	視力検査 (2・4・6年)
4月25日 (金)	ふれあいデー (1年生を迎える会)
4月28日 (月)	内科検診 (3・4年)
4月30日 (水)	第1回研究協力者会

■附属中学校

月 日	事 項
3月5日 (水)	第2回学校評議員会
3月8日 (土)	第33回卒業式
3月11日 (火)	2年修学旅行 (~14日 (金))
3月20日 (木)	3学期終業式
3月25日 (火)	離任式
4月1日 (火)	開校記念日
4月7日 (月)	新任式 1学期始業式
4月8日 (火)	第34回入学式
4月11日 (金)	2・3学年PTA
4月14日 (月)	学力検査
4月15日 (火)	2年地域分野観桜会おもてなしプロジェクト1日目
4月16日 (水)	2年地域分野観桜会おもてなしプロジェクト2日目 1年内科検診
4月17日 (木)	2年内科検診
4月18日 (金)	PTA運営委員会・総会 後援会総会
4月21日 (月)	第1回避難訓練
4月22日 (火)	第1回指導者・協力者打合せ
4月23日 (水)	3年全国学力・学習状況調査
4月24日 (木)	尿検査 3年内科検診
4月25日 (金)	全校集会 (任命式) 生徒総会



# 上越教育大学学報

第 128 号 平成 26 年 5 月 10 日発行

上越教育大学総務課

〒943-8512 上越市山屋敷町 1 番地

電話 025-521-3214